取扱説明書

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

目　次

マニュアルのご紹介

■添付の紙マニュアル

□『はじめに添付品を確認してください』

添付の機器、マニュアル、CD などの一覧です。
ご購入後、すぐに添付品が揃っているか確認してください。欠品などがあった場合は、できるだけ早くご購入元にご連絡ください。

□『取扱説明書』（本書）

使用上のご注意、パソコンを使うための準備、ご購入時の状態に戻す方法などを説明しています。

■インターネット上のマニュアル

□『FMV マニュアル』

「FMV マニュアル」には、パソコンの使い方について説明したマニュアルが用意されています。

「FMV マニュアル」は「FMV サポートナビ」からご覧いただけます。
画面上の「FMV サポートナビ」アイコンをダブルクリック→「FMV サポートナビ」ウィンドウで「マニュアル」タブを選択→「実行」をクリックします。ブラウザが表示されるので、製品カテゴリーから「FMV-ESPRIMO（2005 年 4 月以降）」を選択し、その後、「シリーズ名」、「製品名」の順に選択してご覧ください。

POINT

- 次の操作でも、「FMV マニュアル」をご覧いただけます。
  - ・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMV マニュアル」の順にクリックする。
  - ・直接 URL（http://www.fmworld.net/biz/fmv/support/fmvmanual/）を入力する。

目的に合わせてお読みください

（■：添付の紙マニュアル、□：インターネット上のマニュアル）

目的	マニュアル
・箱の中身を確認する................	■『はじめに添付品を確認してください』
・パソコンを使うための準備をする....	■『取扱説明書』の「必ずお読みください」
・各部の名称や取り扱い方............	□『製品ガイド』の「各部名称」
・周辺機器の取り付け方法............	□『製品ガイド』の「周辺機器の設置／設定／増設」
・添付のソフトウェアについて........	□『製品ガイド』の「ソフトウェア」
・セキュリティ対策について..........	□『製品ガイド』の「セキュリティ」
・パソコンのお手入れについて........	□『製品ガイド』の「お手入れ」
・トラブルの解決方法................	□『製品ガイド』の「トラブルシューティング」 「トラブルシューティング」を読んでも解決しない場合は、「FMV シリーズをお使いになる上での注意事項」をご覧ください。 （「FMV マニュアル」のページ（上記 URL）からご覧いただけます。）
・ドライバについて..................	□『製品ガイド』の「ソフトウェア」
・仕様について......................	□『製品ガイド』の「仕様一覧／技術情報」
・購入時の状態に戻す................	■『取扱説明書』の「リカバリについて」、「リカバリを実行する」、「ハードディスクをご購入時の状態に戻す」

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

・ 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
・ 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
・ 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
・ 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
・ 修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複写して、保管しておいてください。
・ 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。
なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
（1） 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
（2） 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 壁紙の使用条件
本製品に「FUJITSU」ロゴ入りの壁紙がインストールされている場合、お客様は、その壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
8. 保証の範囲
（1） 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
（2） 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
（3） 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
9. ハイセイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
記
原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM などは大切に保管してください

添付品は、お客様ご自身で大切に保管してください。
添付品を紛失された場合は、ご提供できないものもありますので、ご了承ください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注 意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

24 時間以上の連続使用について

本製品（24 時間モデルを除く）は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

本製品の使用環境は、温度 10 〜 35 ℃／湿度 20 〜 80%RH（動作時）、温度 -10 〜 60 ℃／湿度 20 〜 80%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

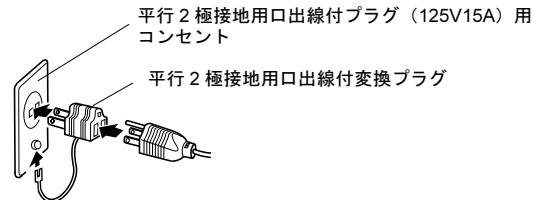
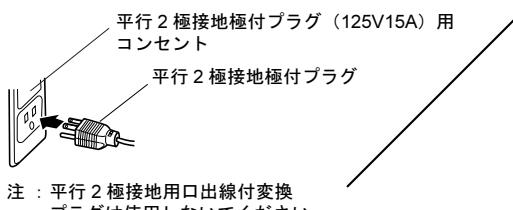
本パソコンは電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本パソコンにおける特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
http://www.fmworld.net/biz/fmv/jmoss/

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスクなど）には、微量の重金属（鉛、クロム）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

エネルギー消費のお知らせ

本製品の消費電力や定格電流に関する情報は、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「仕様一覧／技術情報」－「本体仕様」をご覧ください。

本書の表記

■電源プラグとコンセント形状の表記について

本パソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極接地極付プラグ」です。接続先のコンセントには「平行 2 極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント」または「平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。

「平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用の場合は、添付の「平行 2 極接地用口出線付変換プラグ（2P 変換プラグ）」を取り付けてください。

※「接地用口出線」とはアース線、「接地極」とはアース部分のことです。

本文中では、次のように略して表記します。

名称	本文中の表記
平行 2 極接地極付プラグ	電源プラグ
平行 2 極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント	コンセント
平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント	2 ピンのコンセント
平行 2 極接地用口出線付変換プラグ	2P 変換プラグ

平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用
コンセント

平行 2 極接地用口出線付変換プラグ

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例 :【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

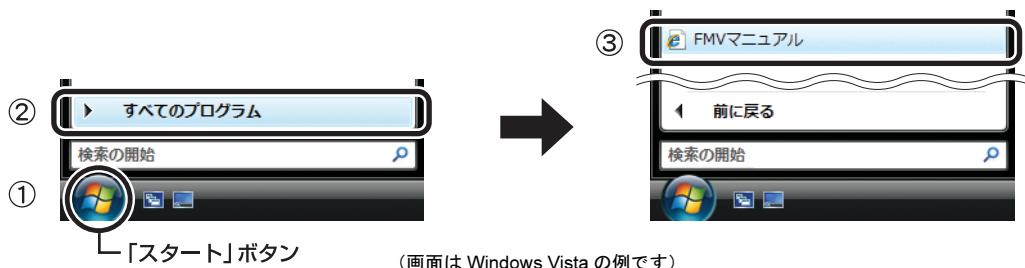
また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

例 :【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy  a:  a:
         ↑   ↑
```

・↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを 1 回押してください。
　また、上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

・CD/DVD ドライブなどのドライブ名を、［CD/DVD ドライブ］で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。
　例 :［CD/DVD ドライブ］:¥setup.exe

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：①「スタート」ボタンをクリックし、②「すべてのプログラム」をポイントし、③「FMV マニュアル」をクリックする操作
↓
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMV マニュアル」の順にクリックします。

（画面は Windows Vista の例です）

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■CD-ROM の使用について

本文中の操作手順において、CD-ROM を使用することがあります。

操作に必要なドライブが搭載されていないモデルをお使いの場合は、必要に応じて別売の周辺機器を用意してください。使用できる周辺機器については、富士通製品情報ページ内にある FMV-ESPRIMO の「システム構成図」（http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/syskou/）をご覧ください。

また、周辺機器の使用方法については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■カスタムメイドオプションについて

本文中の説明は、すべて標準仕様に基づいて記載されています。

そのため、カスタムメイドで選択のオプションを取り付けている場合、メモリ容量やハードディスク容量などの記載が異なります。ご了承ください。

■製品名の表記

本文中では、製品名称を次のように略して表記します。

なお、本書にはお使いの機種、または OS 以外の情報もあります。お使いの機種、または OS のところをお読みください。

製品名称	本文中の表記		
FMV-D5260	本パソコン／パソコン本体		
Windows Vista® Business with Service Pack 1	Windows Vista	Vista	Windows
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP	XP	
Norton AntiVirus™ 2008	Norton AntiVirus		
ATI Radeon™ HD 2400 PRO	ATI Radeon HD 2400 PRO		

■モデルの表記

本文中では、搭載している機能によって、次のようにモデル名を表記しています。

なお、本書にはお使いのモデル以外の情報もあります。お使いのモデルのところをお読みください。

モデル	本文中の表記
RAID 搭載	RAID モデル
Windows Vista® Business 正規版＆ダウングレードサービス	ダウングレードサービスモデル

■お問い合わせ先／ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先やインターネットの URL アドレスは 2008 年 3 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください（→「お問い合わせ先について」）。

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。
警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

ユーザー登録について

本製品のユーザー登録は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）から行うことができます。

RAID モデルについて

RAID モデルをご購入された場合は、RAID 機能がお使いになれます。
RAID モデルの詳細については、「FMV マニュアル」にある『RAID モデルをお使いになる方へ』をご覧ください。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Aero は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
ATI、ATI Radeon、ATI Catalyst は、Advanced Micro Devices,Inc. の商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
⊘	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
●	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。
また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■パソコン本体、AC アダプタ

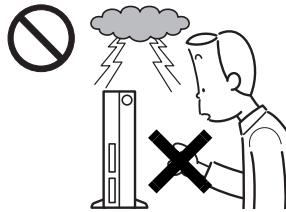
⚠警告

本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。

発煙・発火・破裂の原因になります。

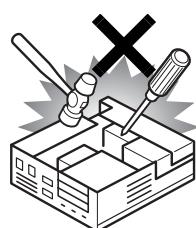
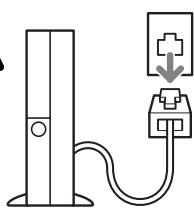
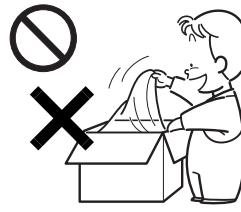
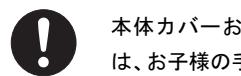
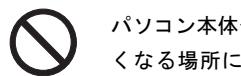
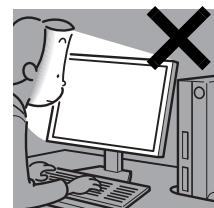
本製品は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

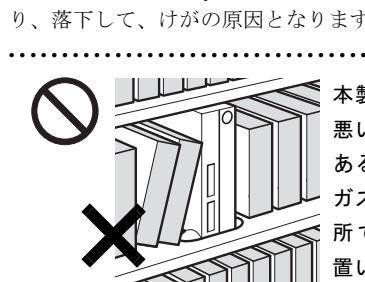
パソコン本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、パソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による感電・火災の原因となります。

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。

本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

メモリの取り付けや取り外しを行うときなど、本体カバーをあける場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、しばらく経ってから本体カバーを開けてください。また、モデム搭載機種で電話回線からモジュラーケーブルが接続されている場合、モジュラーケーブルも取り外してください。
電話回線から着信があった場合、または落雷が起きた場合に感電の原因となります。

梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

本体カバーおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。また、作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。
お子様が手を触れると、本体および本体内部の突起物でけがをしたり、故障の原因となります。

パソコン本体やACアダプタの温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。また、お子様が排気孔付近に近寄らないよう注意してください。
低温やけどの原因になります。

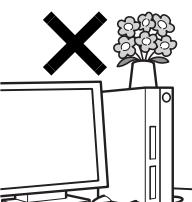
本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

本パソコンの内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。

取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。

リチウム電池はご自身で交換せずに、「富士通ハードウェア修理相談センター」にご相談ください。

振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。

本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因となります。

本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

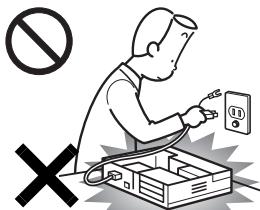
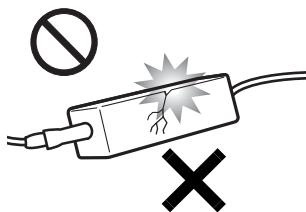
感電・火災の原因となります。

本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。

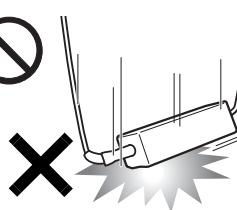
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。

転倒防止の処置をしてください。

地震が発生した場合などに、パソコンが倒れてけがや故障の原因となります。

ラックや床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源等）に接続しないでください。

火災の原因となることがあります。

添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。

感電・火災の原因となります。

本体カバーを外した状態で電源プラグをコンセントに差し込んだり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

AC アダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障・感電・火災の原因となります。

修理は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

⚠ 注意

使用中のパソコン本体やACアダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際はパソコン本体と壁の間に 15cm 以上のすき間をあけ、通気孔などの開口部をふさがないでください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となります。

本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。

本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 ～ 15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止を取るようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の健康障害の原因となることがあります。

- 画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- 背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
- 手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。

本製品（付属品を含む）の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスなどには乾電池を使用しており、一般のゴミと一緒に火中に投じられると乾電池が破裂するおそれがあります。
使用済み乾電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

パソコン本体内部の突起物、および指定されたスイッチ以外には、手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

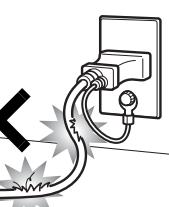
フロッピーディスクや CD/DVD、PC カードなどのトレーやスロット、モデムや LAN のコネクタなど、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。
けが・感電の原因となることがあります。

本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。

電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

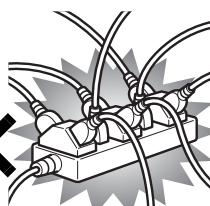
指定外の機器をパソコン本体に接続して電源を取らないでください。

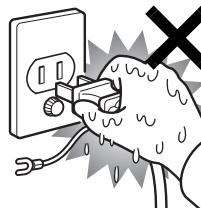
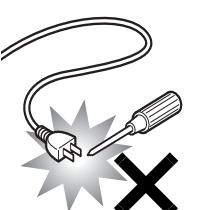
火災・故障の原因となることがあります。

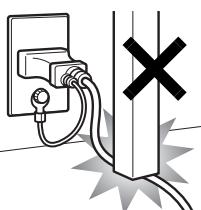
本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。

中毒を起こすおそれがあります。

液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

■電源コード

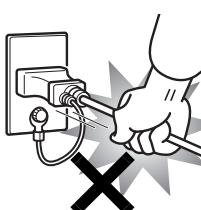
⚠ 警告

電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実に接続してください。また、タコ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。

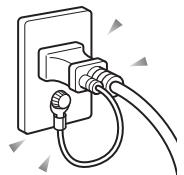
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

AC アダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

火災・感電の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。

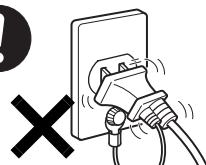
修理は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

ACアダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。

ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。1 年に一度は点検清掃してください。

電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

安全のため、電源プラグにはアース線がついています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。

アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。

電源コードを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

アース線はガス管には絶対に接続しないでください。

火災の原因となります。

AC アダプタや電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。

火災・故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

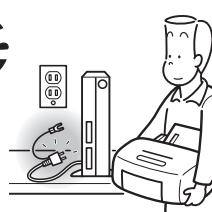
電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。

発熱して、火災の原因となることがあります。

■ヘッドホン

⚠ 注意

ヘッドホン・イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホン・イヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

■周辺機器

⚠ 警告

周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

⚠注意

光学式マウスの底面の光を直接見ないでください。（添付機種のみ）

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

メモリ（拡張 RAM モジュール）の取り付け / 取り外しをおこなうときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。

けがの原因になります。

電源コードがコンセントに接続されているときは、本体のカバーを外さないでください。

感電の原因になります。

周辺機器などの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

■レーザの安全性について（CD/DVD ドライブ搭載機種のみ）

□CD/DVD ドライブの注意

本製品に搭載されている CD/DVD ドライブは、レーザを使用しています。

クラス 1 レーザ製品

CD/DVD ドライブは、クラス 1 レーザ製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR）Subchapter J に準拠しています。

また、クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC 規格（EN 60825-1）および、JIS 規格（JISC6802）に準拠しています。

⚠警告

本製品は、レーザ光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

- **光源部を見ないでください。**

  CD/DVD ドライブのレーザ光の光源部を直接見ないでください。

  また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザ光線が装置外にもれた場合は、レーザ光線を覗きこまないでください。

  レーザ光線が直接目に照射されると、視力障害の原因となります。

- **お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。**

  レーザ光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因となります。

■レーザマウスについて（レーザマウス添付機種のみ）

クラス 1 レーザ製品　IEC 60825-1:2001

クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

⚠警告

マウス底面から、目に見えないレーザ光が出ています。クラス 1 レーザ製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、レーザ光を長時間、直接目に向ける事は、できるだけさけてください。

1. 必ずお読みください

疲れにくい使い方

パソコンを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いの際は疲労に注意し、適切な環境で作業してください。

ディスプレイ

- 外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないように、窓にブラインドやカーテンを取り付けたり、画面の向きや角度を調整しましょう。
- 画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
- ディスプレイの上端が目の位置と同じかやや低くなるようにしましょう。
- ディスプレイの画面は、顔の正面にくるように調整しましょう。
- 目と画面の距離は、40cm 以上離すようにしましょう。

使用時間

- 1 時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1 時間に 10 ～ 15 分程度の休憩時間をとりましょう。また、休憩時間までの間に 1 ～ 2 分程度の小休止を 1 ～ 2 回取り入れましょう。

入力機器

- キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるようにして使い、手首や肘は机、椅子の肘かけなどで支えるようにしましょう。

机と椅子

- 高さが調節できる机や椅子を使いましょう。調節できない場合は、次のように工夫しましょう。
- 机が高すぎる場合は、椅子を高く調節しましょう。
- 椅子が高すぎる場合は、足置き台を使用し、低すぎる場合は、座面にクッションを敷きましょう。
- 椅子は、背もたれ、肘かけ付きを使用しましょう。

作業スペース

- 机上のパソコンの配置スペースと作業領域は、充分確保しましょう。
  スペースが狭く、腕の置き場がない場合は、椅子の肘かけなどを利用して腕を支えましょう。

使用上のお願い

- 周辺機器は、弊社純正品をお使いください。
- 「システムのプロパティ」ウィンドウの「詳細設定」タブで、「パフォーマンス」の「設定」をクリックすると、「パフォーマンスオプション」ウィンドウが表示されます。このウィンドウの「詳細設定」タブで、「プロセッサのスケジュール」や「仮想メモリ」（Windows Vista の場合）または「メモリ使用量」（Windows XP の場合）の設定を初期設定から変更するとパソコンの動作が不安定になる場合があります。
  これらの項目は、初期設定のままお使いください。

パソコン本体取り扱い上の注意

故障の原因となりますので、次の点に注意してください。

- ハードディスクの内部では、情報を記録するディスクが高速に回転しながら、情報の読み書きをしています。非常にデリケートな装置ですので、電源が入ったままの状態で本パソコンを持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。
- 極端に温度変化が激しい場所でのご使用および保管は避けてください。
- 直射日光の当たる場所や発熱器具のそばには近づけないでください。
- 衝撃や振動の加わる場所でのご使用および保管は避けてください。

●湿気やほこりの多い場所でのご使用および保管は避けてください。
●磁石や強い磁界を発生する装置の近くでのご使用および保管は避けてください。
●分解したり、解体したりしないでください。
●結露させたり、濡らしたりしないようにしてください。

POINT

▶ 取り扱い方法によっては、ディスク内のデータが破壊される場合があります。重要なデータは必ずバックアップを取っておいてください。
なお、バックアップは、ハードディスク単位ではなく、ファイル単位または区画単位で取ることをお勧めします。

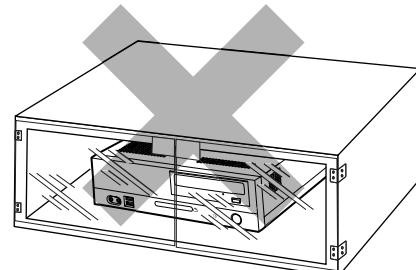
落雷のおそれがあるときの注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。
落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。
場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

パスワードの取り扱いについて

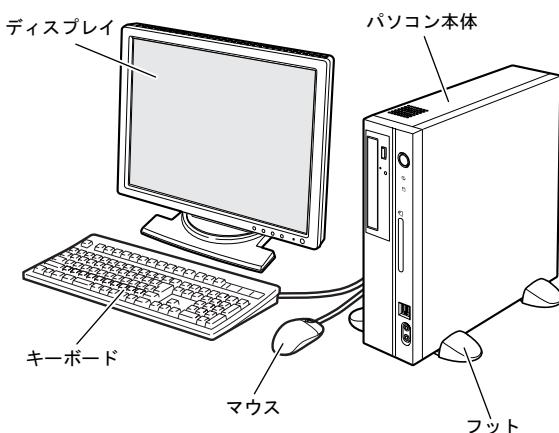
BIOS のパスワードや Windows のパスワードを設定するときは、設定したパスワードを忘れないように注意してください。パスワードを忘れると、パソコンが使えなくなり、修理が必要となります。

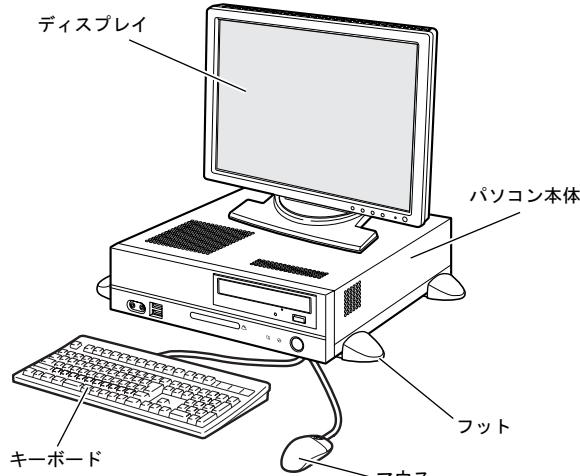
設置について

本パソコンの設置場所、設置方法を説明します。

使用および設置に適さない場所

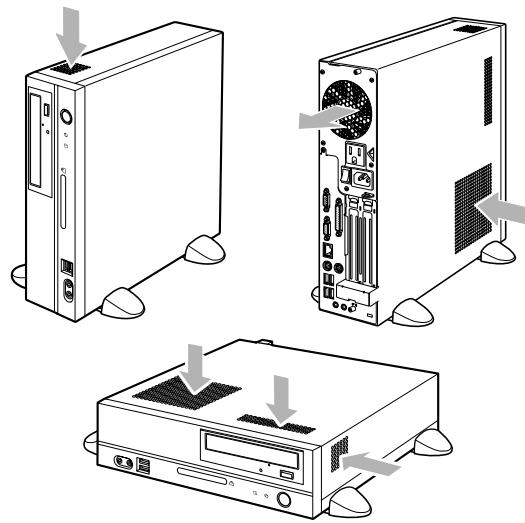
●湿気やほこり、油煙の多い場所
●通気性の悪い場所
●火気のある場所
●風呂場、シャワー室などの水のかかる場所
●台所などの油を使用する場所の近く
●直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなど、高温になる場所
●電源ケーブルなどのケーブルが足にひっかかる場所
●テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所
●振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所
●車、飛行機、船など、輸送機器への設置
●極端に高温または低温になる場所
●腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所
●結露する場所

POINT

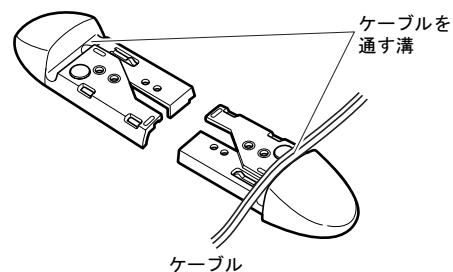
▶ 本パソコンの使用環境は温度 10 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です。
▶ 結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動した時に起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
▶ 本パソコンのそばで喫煙すると、タバコのヤニや煙がパソコンの内部に入り、CPU ファンなどの機能を低下させる可能性がありますので、ご注意ください。
▶ パソコン本体の前面は開放してください。また、パソコン本体と壁の間に 15cm 以上のすき間をあけ、通風孔などの開口部をふさがないでください。
▶ カスタムメイドでグラフィックカードを選択した場合
本パソコンをラックなどに収納する場合は、ラックの前面にドアがないもの、およびラック背面がふさがれていないものをお使いください。
また、パソコンと周囲のラックの壁の間に 15cm 以上の隙間をあけてください。

設置例

本パソコンは次のように設置してください。
パソコン本体は次の図のように縦置き、または横置きにすることができます。設置の際は、パソコン本体背面や上面、側面にある通風孔をふさがないように注意してください。特に横置きする場合は、パソコン本体に載せるディスプレイが、パソコン本体の通風孔をふさがないように注意してください。通風孔の空気の流れについては、「空気の流れ」（→ P.17）をご覧ください。

■縦置き

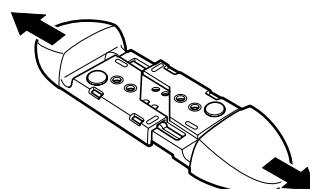
本パソコンを壁などに接して縦置きにする場合、壁などに接していない片側だけフットを取り付けます。

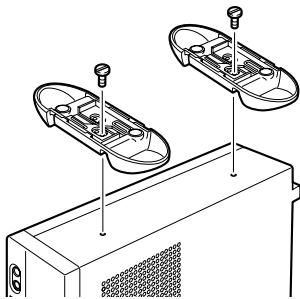
■横置き

13kg 以下のディスプレイのみパソコン本体の上に載せることができます。

フットの代わりにゴム足を取り付けることもできます。詳しくは、「横置きに設置する」（→ P.18）をご覧ください。

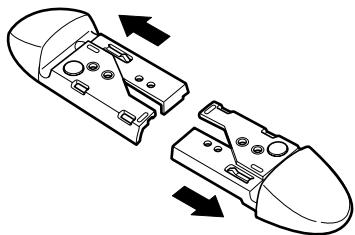
■空気の流れ

本パソコンの空気の流れは次の図のとおりです。

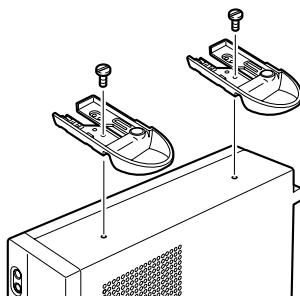
縦置きに設置する

POINT

- キーボードやマウスのケーブルを、フットの溝に通してまとめることができます。その場合は、フットを取り付けるときに、あらかじめフットの溝にケーブルを通しておいてください。

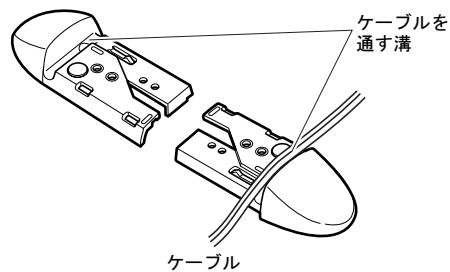
■フットを 2 つ使う場合（ダブル）

本パソコンを壁などに接しないで縦置きする場合、次の手順で取り付けてください。

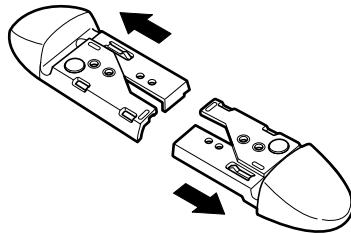
1 フットを、パソコン本体の幅に合わせます。

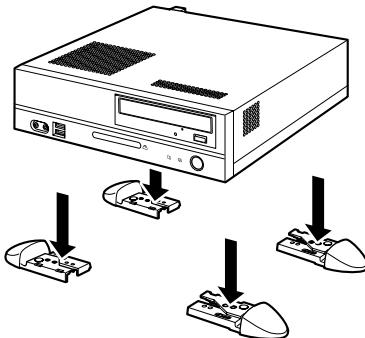
2 パソコン本体にフットを取り付けます。

フット背面にあるネジ穴に、ネジで固定します。

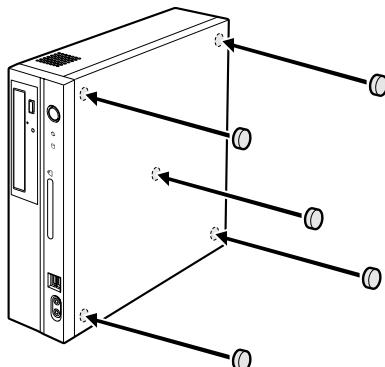
■フットを 1 つ使う場合（シングル）

本パソコンを壁などに接して縦置きする場合、次の手順で取り付けてください。

1 フットを分解します。

2 パソコン本体に分解したフットを取り付けます。

フット背面にあるネジ穴に、ネジで固定します。

横置きに設置する

POINT

- キーボードやマウスのケーブルを、フットの溝に通してまとめることができます。その場合は、フットを取り付けるときに、あらかじめフットの溝にケーブルを通しておいてください。

■フットを使う場合

1 フットを分解します。

2 分解したフットの上にパソコン本体を載せます。

■ゴム足を使う場合

横置きする場合、フットを取り付ける代わりに、パソコン本体の 4 隅と中央に添付のゴム足（5 個）を取り付けて設置することもできます。

1 ゴム足をパソコン本体側面に取り付けます。

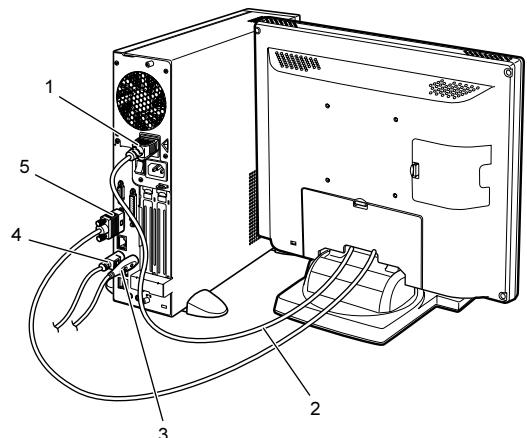
POINT

- ゴム足を取り付ける場合、縦置きするときのフットに接触しない位置に取り付けてください。また、パソコン本体のゴム足を取り付ける部分は、ほこりなどを拭き取ってください。
- ゴム足を取り付けた後にパソコン本体を移動する場合、ゴム足をひきずらないでください。

これ以降の記述については、縦置きを前提としています。横置きにする場合は、読み替えてください。

接続について

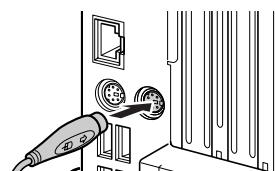
パソコン本体に、ディスプレイ、キーボード、マウス、電源ケーブルなどを接続します。

⚠警告

- ディスプレイ、キーボード、マウス、電源ケーブルの取り付けや取り外しを行う場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
  この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

⚠注意

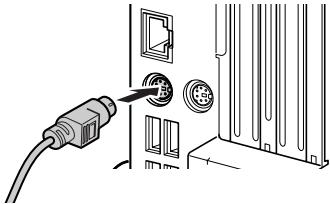
- ケーブルは、このマニュアルを読み、正しく接続してください。
  誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

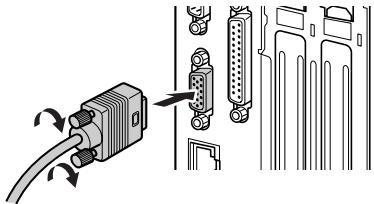
- 本パソコンを移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。
  電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本パソコンが落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

- アウトレットはディスプレイの電源供給専用です。それ以外の用途には使用しないでください。
  火災・故障の原因となることがあります。

ディスプレイ／キーボード／マウスを接続する

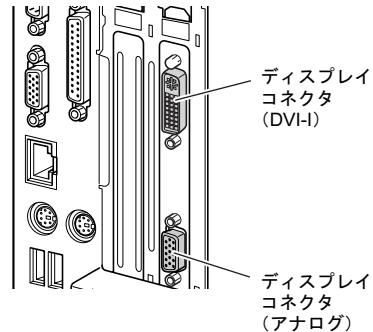
1 電源ケーブルをアウトレットに接続します。

2 電源ケーブルをディスプレイに接続します。
電源ケーブル（ディスプレイ用）の片方のプラグを、ディスプレイ背面のインレットに接続します。

3 マウスを接続します。
マウスケーブルのコネクタに刻印されているマークの面を右向きにして、マウスコネクタの色とパソコン本体背面のマウスラベルの色が合うように接続します。

POINT

- USB マウス（光学式）や USB マウス（レーザー式）をお使いになる場合は、パソコン本体前面、またはパソコン本体背面の USB コネクタに接続します。このとき、コネクタの形を互いに合わせ、まっすぐに差し込んでください。

4 キーボードを接続します。

キーボードケーブルのコネクタに刻印されているマークの面を右向きにして、キーボードコネクタの色とパソコン本体背面のキーボードラベルの色が合うように接続します。

5 ディスプレイケーブルをパソコン本体に接続します。

ケーブルのコネクタを、パソコン本体背面のディスプレイコネクタに接続して、ケーブルのコネクタのネジを締めます。

POINT

- カスタムメイドのグラフィックカードを選択している場合は、次の説明をご覧ください。
  - ・ディスプレイコネクタ（DVI-I または D-SUB15 ピン）以外のディスプレイコネクタは使用できません。また、デュアルリンク対応モニタは使用できませんので、接続しないでください。
  - ・アナログ RGB 規格のディスプレイケーブルは、ミニ D-SUB15 ピンコネクタに接続してください。
  - ・DVI 規格のディスプレイケーブルは、DVI-I コネクタに接続してください。
  - ・デジタルディスプレイと接続する場合、ディスプレイの電源ケーブルはパソコン本体のアウトレットに接続してください。
  - ・2 台目のディスプレイは、Windows のセットアップが終わってから接続してください。接続方法などは、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「取り扱い」－「ディスプレイ」をご覧ください。

電源ケーブルを接続する

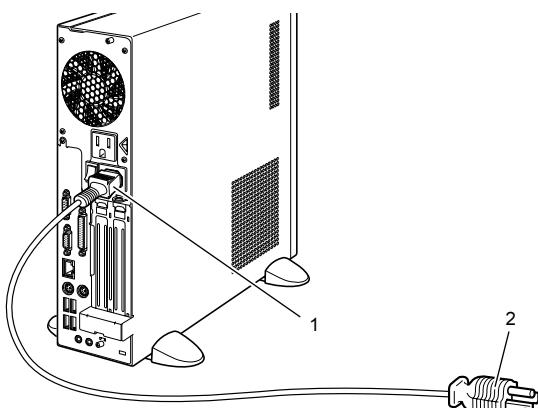
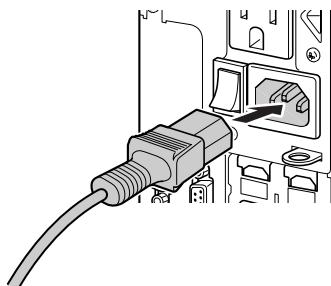
⚠警告

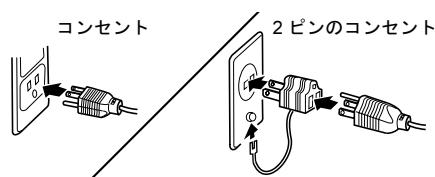
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
  感電の原因となります。

- 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
  重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。
  修理は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
- AC アダプタの本体やケーブル、電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
  感電・火災の原因となります。
- AC アダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。
  ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。
- AC アダプタや電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
  火災・故障の原因となることがあります。
- 電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実に接続してください。また、タコ足配線をしないでください。
  感電・火災の原因となります。

● 近くで落雷のおそれがある場合は、パソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。

● 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。
安全のため、電源プラグにはアース線がついています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。
アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご相談ください。

⚠ 注意

● 電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

● 本パソコンを長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

1 電源ケーブルのプラグをパソコン本体背面のインレットに接続します。

2 電源ケーブルの電源プラグをコンセント（AC100V）に接続します。

■ コンセントの場合
電源プラグをコンセントに接続してください。

■ 2 ピンのコンセントの場合
2P 変換プラグに付いているアース線を、アース端子のネジにネジ止めします。その後、添付の 2P 変換プラグを取り付けてコンセントに接続してください。

電源を入れる

注意事項

● ご購入後、初めて電源を入れる場合は、周辺機器の取り付けなどを行わないでください。
● 電源ランプは、スリープ状態（Windows Vista の場合）またはスタンバイ状態（Windows XP の場合）になるとオレンジ色に点灯します。
● パソコン本体の電源を入れる前に、必ずディスプレイが接続されていることを確認してください。ディスプレイを接続しないでパソコン本体の電源を入れると、ディスプレイが認識されず、画面が正常に表示されない場合があります。この場合、アナログディスプレイをお使いの方は、アナログディスプレイを接続してWindowsを終了させてから電源を切り、その後電源を入れ直してください。
● デジタルディスプレイを直接コンセントに接続してお使いになる場合、デジタルディスプレイによっては本パソコンが起動しなくなることがあります。その場合は、パソコン本体のアウトレットから電源をとってください。

●ディスプレイの電源ケーブルを本パソコンに接続している場合、ディスプレイの電源は本パソコンの電源と連動して入ります。そのため、ディスプレイの電源ボタンは一度押しておけば、以後操作する必要はありません。
次回からはパソコン本体の電源ボタンを押すだけで電源が入ります。

●画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイにあった周波数が設定されているか確認してください。それでも中央に表示されない場合は、ディスプレイ側で調整してください。

●電源を入れた後すぐに電源を切る場合は、Windows が起動してから「電源を切る（Windows Vista の場合）」（→ P.26）または「電源を切る（Windows XP の場合）」（→ P.31）に従って電源を切ってください。

●画面表示の開始や表示モードが切り替わるとき、一時的に画面が乱れたり、横線が見えることがあります（Windows の起動・終了画面、省電力モードからの復帰時など）。これは故障ではありませんので、そのままお使いください。

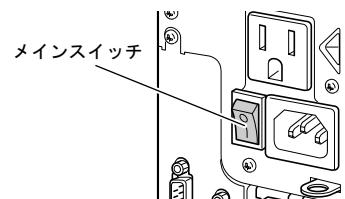
●電源を入れた後、ディスプレイに「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、本パソコンは、パソコン内部をチェックする「自己診断（POST : Power On Self Test）」を行います。自己診断（POST）中は電源を切らないでください。自己診断（POST）の結果、異常があればエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージについては「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』をご覧ください。

●システム起動時（開封契約時を含む）やシステム終了時、または「Norton AntiVirus」のウィンドウが表示される瞬間に、一瞬帯状に画面が乱れることがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。

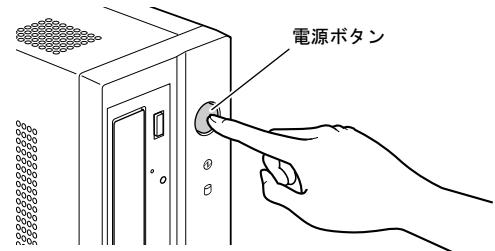
●周辺機器の取り付けなどのとき、アッパーカバーを取り外したまま電源を入れないでください。

●電源を切った後すぐに電源を入れる場合は、30 秒以上時間をあけてください。

●スタンバイまたはスリープ状態へ移行し始めたら、電源ランプがオレンジ色に点灯した後、10 秒以上待って復帰（レジューム）してください。
また、スタンバイまたはスリープ状態に移行し、電源ランプがオレンジ色に点灯してから 10 秒以内は、キーボードやマウス、電源ボタンなどの操作を行わないでください。

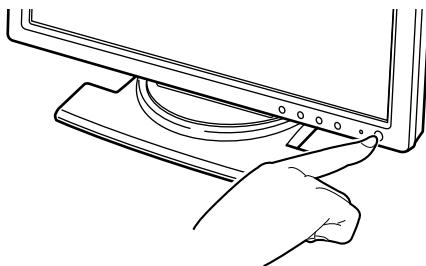
●画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。
- ・パソコン本体背面のメインスイッチはオンになっていますか。
- ・ディスプレイの電源は入っていますか。
- ・省電力モードが設定されていませんか。
マウスを動かすか、どれかキーを押してください。パソコン本体の電源ランプがオレンジ色になっている場合、ACPI モードの S3 に移行している可能性があります。電源ボタンを押してください。電源ボタンを押してから 30 秒以上たっても画面に何も表示されない場合、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて、電源を一度切ってください。
- ・ディスプレイのケーブルは、正しく接続されていますか（→ P.19）。
- ・ディスプレイの電源ケーブルは、アウトレットに接続されていますか（→ P.19）。
- ・ディスプレイのブライトネス／コントラストボリュームは、正しく調節されていますか。ブライトネス／コントラストボリュームで画面を調節してください。

電源の入れ方

⚠注意

● 電源を入れた状態で持ち運んだり､衝撃や振動を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

1 パソコン本体背面のメインスイッチを「｜」側に切り替えます。

POINT

▶ 一度「｜」側に切り替えたら、本パソコンを起動するたびに切り替える必要はありません。

2 パソコン本体の電源ボタンを押します。

3 ディスプレイの電源ボタンを押します。

ディスプレイとパソコン本体の電源ランプが緑色に点灯します。
電源が入ると、ディスプレイに「FUJITSU」ロゴが表示され、その後システムが起動します。
ご購入後、初めて電源を入れると、Windows のセットアップ画面が表示されます。その場合は、「セットアップ（Windows Vista の場合）」（→ P.23）または「セットアップ（Windows XP の場合）」（→ P.27）をご覧になり、操作を続けてください。

POINT

- **電源を入れても画面に何も表示されない場合は、「注意事項」（→ P.21）をご覧ください。**

セットアップ（Windows Vista の場合）

初めて電源を入れた後に行う Windows の初期設定（Windows セットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

次の「注意事項」をよく読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。

注意事項

- Windows セットアップを行う前は、次の点にご注意ください。
  - ・周辺機器を取り付けないでください。
  - ・LAN ケーブルを接続しないでください。
  - ・オプションカードをセットしないでください。
  - ・BIOS をご購入時の設定から変更しないでください。

  Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示される場合があります。
  上記の項目は、セットアップを行い、「必ず実行してください」を実行してから、行うようにしてください。
- Windowsセットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが完全に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから、キーボードまたはマウスで操作してください。
- セットアップ中は、電源を切らないでください。
- Windows セットアップが進められなくなったときは、「Windows Vista セットアップで困ったときは」（→ P.26）をご覧ください。

Windows Vista セットアップ

1 本パソコンの電源を入れます（→ P.21）。

そのまましばらくお待ちください。
本パソコンが再起動し、「Windows のセットアップ」ウィンドウが表示されます。

重 要

- **この間、一時的に画面が真っ暗な状態になったり（1 ～ 3 分程度）、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。**
  絶対に電源を切らずにそのままお待ちください。途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。数分後に次の「Windows のセットアップ」ウィンドウが表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。

2「次へ」をクリックします。

「ライセンス条項をお読みになってください」が表示されます。
「ライセンス条項」は、本パソコンにあらかじめインストールされているWindowsを使用するうえでの契約を記述したものです。

3「ライセンス条項」をよく読み、2ヶ所の「ライセンス条項に同意します」にチェックをつけて、「次へ」をクリックします。

「ユーザー名と画像の選択」と表示されます。

4 ユーザー名、パスワード、パスワードのヒントを入力し、お好みの画像を選択して、「次へ」をクリックします。

「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。」と表示されます。

POINT

- **ユーザー名は半角のアルファベットや数字で入力してください。**
- **パスワードでは大文字／小文字が区別されます。**

5 お好みのデスクトップの背景を選択し、「次へ」をクリックします。

「Windowsを自動的に保護するよう設定してください」と表示されます。

POINT

- コンピュータ名は、ここでは変更しません。セットアップ終了後に変更してください。

6「推奨設定を使用します」をクリックします。
「ありがとうございます」と表示されます。

7「開始」をクリックします。
そのまましばらくお待ちください。
パスワード入力画面が表示されます。

POINT

- この間に画面が何度か変化します。パスワード入力画面が表示されるまで、お使いの機種により 5 分以上時間がかかる場合があります。

8 手順 4 で入力したパスワードを入力し、「→」をクリックします。

POINT

- 画面下の通知領域に警告が表示される場合があります。これは、ウイルス対策ソフトをインストールし、パターンファイルを最新の状態にすることで表示されなくなります。
ウイルス対策ソフトのインストールは、「必ず実行してください」を実行してセットアップを完了させた後で、「Windows Vista セットアップ後」（→ P.25）をご覧になり行ってください。

9 表示されている「必ず実行してください」ウィンドウを確認し、「実行する」をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

重 要

- 「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。
- 「必ず実行してください」の実行前に「復元ポイントの作成」を行わないようにしてください。

10「続行」をクリックします。
最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

重 要

- 最終設定を正しく行うために、必ず「続行」をクリックしてください。

11「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動します。

12 手順 4 で入力したパスワードを入力し、「→」をクリックします。
Windows が起動します。

重 要

- 24 時間モデルの場合
ご購入時のセットアップの場合、Windows が起動後しばらくすると、「お手入れナビの設定」ウィンドウが表示されます。「OK」をクリックしてから次の手順に進んでください。

13 次の操作をします。

■ ご購入時のセットアップの場合

これで、Windows セットアップが完了しました。
この後は、「Windows Vista セットアップ後」（→ P.25）をご覧になり、必要な操作を行ってください。

■ リカバリ後のセットアップの場合

グラフィックカードのドライバをインストールする必要があります。標準のグラフィックカードの場合は、添付の「ドライバーズディスク 1」を用意して、次の手順に進んでください。カスタムメイドでグラフィックカードを選択した場合は、添付の「ATI Radeon™ ディスプレイドライバディスク」を用意して、次の手順に進んでください。

14「ドライバーズディスク 1」または「ATI Radeon™ ディスプレイドライバディスク」をセットします。

■ 標準のグラフィックカードの場合

「ドライバーズディスク 1」をセットすると、「ドライバーズディスク検索ツール」が起動します。お使いのグラフィックカードのドライバフォルダを検索し、フォルダ内の「install.txt」に従って、グラフィックドライバをインストールしてください。

■ カスタムメイドでグラフィックカードを選択した場合

添付の「ATI Radeon™ ディスプレイドライバディスク」をセットすると、「ディスク検索」ツールが起動します。お使いのグラフィックカードのドライバフォルダを検索し、フォルダ内の「install.txt」に従って、グラフィックドライバをインストールしてください。

グラフィックドライバのインストール完了後、本パソコンが再起動します。次の手順に進んでください。

POINT

- ドライバのインストール前に「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示される場合があります。この場合は「キャンセル」をクリックしてください。
- 添付の「ドライバーズディスク 1」、または「ATI Radeon™ ディスプレイドライバディスク」をセットすると、「自動再生」ウィンドウが表示されることがあります。その場合は、「プログラムのインストール / 実行」の「DRVCDSRC.exe の実行」を選択してください。

15 ログオンします。

16 「ドライバーズディスク 1」または「ATI Radeon™ ディスプレイドライバディスク」を取り出します。

17 次の操作をします。

■ 24 時間モデル以外の場合

これで、Windows セットアップが完了しました。
この後は、「Windows Vista セットアップ後」（→ P.25）をご覧になり、必要な操作を行ってください。

■ 24 時間モデルの場合

「お手入れナビ」をインストールする必要があります。添付の「ドライバーズディスク 1」を用意して、次の手順に進んでください。

18 「ドライバーズディスク 1」をセットします。

「ドライバーズディスク 1」をセットすると、「ドライバーズディスク検索ツール」が起動します。「お手入れナビ」を検索し、「Readme.txt」に従って「お手入れナビ」をインストールしてください。
「お手入れナビ」のインストール完了後、本パソコンが再起動します。次の手順に進んでください。

POINT

- 添付の「ドライバーズディスク 1」をセットすると、「自動再生」ウィンドウが表示されることがあります。その場合は、「プログラムのインストール / 実行」の「DRVCDSRC.exe の実行」を選択してください。

19 ログオンします。

20 「ドライバーズディスク 1」を取り出します。

これで、Windows セットアップが完了しました。
この後は、「Windows Vista セットアップ後」（→ P.25）をご覧になり、必要な操作を行ってください。

Windows Vista セットアップ後

セットアップが終わったら、パソコンを使い始める前に、次の操作を行ってください。

■リカバリディスクの作成

本パソコンのハードディスクには、「リカバリ領域」が用意されています。
パソコンにトラブルが起こったときは、リカバリ領域に保存されているリカバリデータを使って、C ドライブをご購入時の状態に戻すことができます。
このリカバリ領域にトラブルがあった場合に備えて、リカバリデータをコピーした「リカバリディスク」を作成しておくことをお勧めします。
リカバリディスクの作成は、「リカバリディスクを作成する」（→ P.32）をご覧ください。

■セキュリティ対策

ウイルス対策や不正アクセスに関する対策など、お使いのパソコンについてのセキュリティ対策は、システム管理者の指示に従い、お客様自身が責任をもって行ってください。
初めてインターネットに接続する際は、LAN などに接続してインターネットを始める前に、次のセキュリティ対策を行ってください。

1. ネットワーク管理者に確認し、LAN などの設定を行います。
2. 「Windows Update」を実行し、Windows をより安全な状態に更新します。
   「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」をクリックし、必要な更新をインストールします。
   Office 製品をお使いの場合は、「Windows Update」ウィンドウの「他の製品の更新プログラムを取得します」をクリックすると、Windows や Office 製品などのマイクロソフト社が提供するソフトウェアの更新プログラムを入手することができます。
3. ウイルス対策ソフトをインストールし、ウイルス対策のデータファイルを最新にします。ウイルス対策ソフト「Norton AntiVirus」については、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「セキュリティ」－「ネットワーク接続時のセキュリティ」－「コンピュータウイルス対策」をご覧ください。

実行にあたっては、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

なお、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』をご覧になるためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。ネットワーク管理者に確認し、LAN などの設定を行ってください。

■ソフトウェア

- DVD-ROM ドライブ、DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ、スーパーマルチドライブを搭載している場合、DVD を再生するには、添付の「WinDVD」CD-ROM　内の「InterVideo WinDVD™」をインストールしてください。インストール方法については、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」をご覧ください。
- RAID モデルをお使いの場合は、ディスクアレイを構成する各ハードディスクに対してベリファイを定期的に実行することと、「RAID ログ管理ツール」を設定する必要があります。

  「RAID ユーティリティ」や「RAID ログ管理ツール」については『製品ガイド』の「ソフトウェア」－「各ソフトウェアの紹介」をご覧ください。
- RAID モデルをお使いの場合、本パソコンの起動直後にアプリケーションをインストールするときは、1 分程時間をおいてから行ってください。
- カスタムメイドを選択している場合や、セキュリティ機能をお使いになる場合は、「FMV マニュアル」にある機能別のマニュアルをご覧ください。
- 必要に応じて、ソフトウェアの追加や削除を行うことができます。ソフトウェアについては、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」をご覧ください。

その他の設定については「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』をご覧ください。

Windows Vista セットアップで困ったときは

セットアップ中に動かなくなった、など困ったことがあったときには、次の項目をご覧ください。

■電源を入れても画面が表示されない

- 電源を切り、ディスプレイなどの接続を確認してください。

■Windows セットアップが進められなくなった

- 電源ボタンを 4 秒以上押し続けて、本パソコンの電源を一度切り、セットアップをやり直してください。
- 途中で電源を切ると、次に電源を入れたときに再起動を繰り返したり、「システムのインストールが完全ではありません」などのメッセージが表示され、Windows が起動しなくなることがあります。

  この場合は、「FUJITSU」ロゴが表示されているときか、またはメッセージが表示されているときに、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて強制的に電源を切り、リカバリ操作を行ってください。

■電源を入れた後、画面が中央に表示されない、画面が見にくい

- 設定機能があるディスプレイをお使いの場合は、ディスプレイのマニュアルをご覧になり調整してください。

■起動時などの音がうるさい

- Windows セットアップ時に音が鳴ります。スピーカーを接続している場合は、ボリュームを調整してください。

■「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示される

- お使いのモニタに合わせたドライバをインストールしてください。

電源を切る（Windows Vista の場合）

注意事項

- 電源を切る前に、すべての作業を終了し、データを保存してください。
- 電源を切る前に、ディスクアクセスランプやフロッピーディスクアクセスランプ（→「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』）が消えていることを確認してください。点灯中に電源を切ると、作業中のデータが保存できなかったり、フロッピーディスクやハードディスク内部のデータが破壊されたりする可能性があります。
- 長期間お使いにならない場合は、パソコン本体背面のメインスイッチを「○」側に切り替えてください。
- 自己診断（POST）時に電源を切らないでください。Windows が完全に起動してから、「電源を切る（Windows Vista の場合）」（→ P.26）に従って電源を切ってください。
- 通常の手段で電源が切れない場合や再起動できない場合、4 秒以上電源ボタンを押し続けて、電源を切ってください。ただし、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ると、ハードディスクを破壊するおそれがあります。緊急の場合以外は行わないでください。
- 電源を切った後すぐに電源を入れる場合は、30 秒以上時間をあけてください。

電源の切り方

「スタート」ボタン→ の →「シャットダウン」の順にクリックします。
Windows が終了し、本パソコンの電源が切れます。

POINT

- 上記操作で電源が切れない場合、次の手順で電源を切ってください。
  1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
  2. 画面右下にある をクリックし、Windows を終了します。

  それでも電源が切れない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けてください。
- 「再起動」を選択すると、本パソコンを再起動することができます。ソフトウェアをインストールした場合や、使用中のソフトウェアがなんらかの理由で動かなくなった場合などに、再起動を行います。再起動すると、メモリ内のデータが消失します。再起動する前に、必要なデータは保存してください。
- 標準モデルの場合、本パソコン出荷時は、「スタート」ボタン→ (電源ボタン）の順にクリックするとスリープに移行します。スリープから復帰（レジューム）する場合は、BIOS のパスワードなどのセキュリティ機能は働きませんので、ご注意ください。
- RAID モデルの場合、本パソコン出荷時は、「スタート」ボタン→ (電源ボタン）の順にクリックして、本パソコンの電源を切ることもできます。

スリープする

本パソコンを使用しない場合は、電源を切らずにスリープにしておくと、次にパソコンを使うときにすぐに使い始めることができます。

POINT

- 次のような場合は、スリープにしないでください。
  - ・パソコンを長時間使わないとき
  - ・パソコンの動作が遅くなったり、正常に動作しなくなったりしたとき

  いったんパソコンの電源を切り、再度電源を入れ直してください。

■スリープのしかた

「スタート」ボタン→ の →「スリープ」の順にクリックします。作業中のデータなどがメモリに保存され、パソコンがスリープの状態になります。スリープ中は、電源ランプがオレンジ色に点灯します。
スリープから復帰（レジューム）する場合は、電源ボタンを押します。
なお、スリープについては、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「取り扱い」－「省電力（Windows Vista の場合）」をご覧ください。

POINT

- スリープ中は、メモリに保存したデータなどを保持するために少しずつ電力を消費します。
- 標準モデルの場合は、「スタート」ボタン→ (電源ボタン）の順にクリックしてスリープにすることもできます（出荷時の状態）。この設定は変更できます。変更する場合は、「電源オプション」ウィンドウで行ってください。
  RAID モデルの場合は、「スタート」ボタン→ (電源ボタン）の順にクリックすると、本パソコンの電源が切れます。
- スリープから復帰（レジューム）する場合は、BIOS のパスワードなどのセキュリティ機能は働きません。スリープから復帰するときにパスワードの入力を必要とする場合は、Windows のパスワードを設定してください。設定方法については、Windows のヘルプをご覧ください。
- 復帰（レジューム）する場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けないでください。電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、本パソコンの電源が切れます。

セットアップ（Windows XP の場合）

初めて電源を入れた後に行う Windows の初期設定（Windows セットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

次の「注意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。

注意事項

- Windows セットアップを行う前は、次の点にご注意ください。
  - ・周辺機器を取り付けないでください。
  - ・LAN ケーブルを接続しないでください。
  - ・オプションカードをセットしないでください。
  - ・BIOS をご購入時の設定から変更しないでください。

  Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示される場合があります。
  上記の項目は、セットアップを行い、「必ず実行してください」を実行してから、行うようにしてください。
- Windowsセットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが完全に行

われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから、キーボードまたはマウスで操作してください。

- セットアップ中は、電源を切らないでください。
- Windows セットアップが進められなくなったときは、「Windows XP セットアップで困ったときは」（→ P.31）をご覧ください。

Windows XP セットアップ

1 本パソコンの電源を入れます（→ P.21）。
しばらくすると、「Microsoft Windows へようこそ」が表示されます。

2 「次へ」をクリックします。
しばらくすると、「使用許諾契約」が表示されます。
「使用許諾契約書」は、本パソコンにあらかじめインストールされているWindowsを使用するうえでの契約を記述したものです。

3 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「コンピュータを保護してください」と表示されます。

POINT

- 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をクリックした後、メッセージに従って操作してください。

4 「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「コンピュータに名前を付けてください」と表示されます。

5 「このコンピュータの名前」と「コンピュータの説明」を入力し、「次へ」をクリックします。
「管理者パスワードを設定してください」と表示されます。

POINT

- 「コンピュータの説明」は省略できます。
  また、コンピュータの名前や説明は、セットアップ終了後にあらためて設定することもできます。

6 「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。
「このコンピュータをドメインに参加させますか ?」と表示されます。

POINT

- パスワードでは大文字／小文字が区別されます。
- 「設定が完了しました」と表示された場合は、手順 10 へ進んでください。

7 「いいえ ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「インターネット接続を確認しています」と表示されます。しばらくすると、「インターネットに接続する方法を指定してください。」と表示されます。

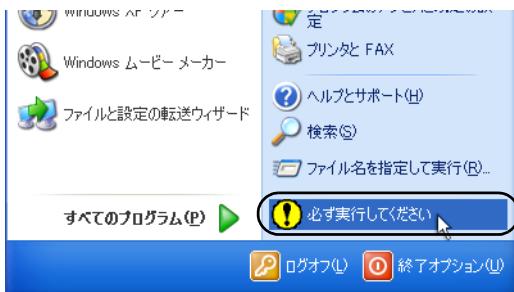
POINT

- 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか?」と表示された場合は、手順 9 へ進んでください。

8 「省略」をクリックします。
「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか ?」と表示されます。

9 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「設定が完了しました」と表示されます。

10 「完了」をクリックします。
本パソコンの再起動後、パスワードの入力画面が表示されます。

11 手順 6 で入力したパスワードを入力し、「→」をクリックします。

POINT

- 画面下の通知領域に警告が表示される場合があります。これは、ウイルス対策ソフトをインストールし、パターンファイルを最新の状態にすることで表示されなくなります。
  ウイルス対策ソフトのインストールは、「必ず実行してください」を実行してセットアップを完了させた後で、「Windows XP セットアップ後」（→ P.30）をご覧になり行ってください。
- 「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウが表示される場合があります。この場合は「キャンセル」をクリックしてください。

12 「スタート」メニューの「必ず実行してください」をクリックします。

「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

重 要

- 「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。
- 「必ず実行してください」の実行前に「復元ポイントの作成」を行わないようにしてください。

13 「実行する」をクリックします。

最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

重 要

- 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をクリックしてください。

14 「OK」をクリックします。

本パソコンが再起動します。

15 手順 6 で入力したパスワードを入力し、「→」をクリックします。

Windows が起動します。

重 要

- 24 時間モデルの場合
  ご購入時のセットアップの場合、Windows が起動後しばらくすると、「お手入れナビの設定」ウィンドウが表示されます。「OK」をクリックしてから次の操作に進んでください。

16 次の操作をします。

■ ご購入時のセットアップの場合

これで、Windows セットアップが完了しました。
この後は、「Windows XP セットアップ後」(→ P.30)をご覧になり、必要な操作を行ってください。

■ リカバリ後のセットアップの場合

グラフィックカードのドライバをインストールする必要があります。標準のグラフィックカードの場合は、添付の「ドライバーズディスク 1」を用意して、次の手順に進んでください。カスタムメイドでグラフィックカードを選択した場合は、添付の「ATI Radeon™ ディスプレイドライバディスク」を用意して、次の手順に進んでください。

17 「ドライバーズディスク 1」または「ATI Radeon™ ディスプレイドライバディスク」をセットします。

■ 標準のグラフィックカードの場合

「ドライバーズディスク 1」をセットすると、「ドライバーズディスク検索ツール」が起動します。お使いのグラフィックカードのドライバフォルダを検索し、フォルダ内の「install.txt」に従って、グラフィックドライバをインストールしてください。

■ カスタムメイドでグラフィックカードを選択した場合

添付の「ATI Radeon™ ディスプレイドライバディスク」をセットすると、「ディスク検索」ツールが起動します。お使いのグラフィックカードのドライバフォルダを検索し、フォルダ内の「install.txt」に従って、グラフィックドライバをインストールしてください。

グラフィックドライバのインストール完了後、本パソコンが再起動します。次の手順に進んでください。

18 ログオンします。

19 「ドライバーズディスク 1」または「ATI Radeon™ ディスプレイドライバディスク」を取り出します。

20 次の操作をします。

■ 24 時モデル以外の場合

これで、Windows セットアップが完了しました。
この後は、「Windows XP セットアップ後」(→ P.30)をご覧になり、必要な操作を行ってください。

■ 24 時間モデルの場合

「お手入れナビ」をインストールする必要があります。添付の「ドライバーズディスク 1」を用意して、次の手順に進んでください。

21「ドライバーズディスク 1」をセットします。

「ドライバーズディスク 1」をセットすると、「ドライバーズディスク検索ツール」が起動します。「お手入れナビ」を検索し、「Readme.txt」に従って「お手入れナビ」をインストールしてください。
「お手入れナビ」のインストール完了後、本パソコンが再起動します。次の手順に進んでください。

22 ログオンします。

23「ドライバーズディスク 1」を取り出します。

これで、Windows セットアップが完了しました。
この後は、「Windows XP セットアップ後」（→ P.30）をご覧になり、必要な操作を行ってください。

Windows XP セットアップ後

セットアップが終わったら、パソコンを使い始める前に、次の操作を行ってください。

■リカバリディスクの作成

本パソコンのハードディスクには、「リカバリ領域」が用意されています。
リカバリ領域はパソコンにトラブルが起こったときなどに、C ドライブをご購入時の状態に戻すことができます。
このリカバリ領域にトラブルがあった場合に備えて、リカバリデータをコピーした「リカバリディスク」を作成しておくことをお勧めします。
リカバリディスクの作成は、「リカバリディスクを作成する」（→ P.32）をご覧ください。

■セキュリティ対策

ウイルス対策や不正アクセスに関する対策など、お使いのパソコンについてのセキュリティ対策は、システム管理者の指示に従い、お客様自身が責任をもって行ってください。
初めてインターネットに接続する際は、LAN などに接続してインターネットを始める前に、次のセキュリティ対策を行ってください。

1. ネットワーク管理者に確認し、LAN などの設定を行います。
2. 「Windows Update」を実行し、Windows をより安全な状態に更新します。
   「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」をクリックし、必要な更新をインストールします。
3. Office 製品をお使いの場合は、「Windows Update」のホームページにある「Office のアップデート」を実行し、より安全な状態に更新します。
4. ウイルス対策ソフトをインストールし、ウイルス対策のデータファイルを最新にします。ウイルス対策ソフト「Norton AntiVirus」については、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「セキュリティ」－「ネットワーク接続時のセキュリティ」－「コンピュータウイルス対策」をご覧ください。

実行にあたっては、ネットワーク管理者の指示に従ってください。
なお、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』をご覧になるためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。ネットワーク管理者に確認し、LAN などの設定を行ってください。

■ソフトウェア

- DVD-ROM ドライブ、DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ、スーパーマルチドライブを搭載している場合、DVD を再生するには、添付の「WinDVD」CD-ROM 内の「InterVideo WinDVD™」をインストールしてください。インストール方法については、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」をご覧ください。
- RAID モデルをお使いの場合は、ディスクアレイを構成する各ハードディスクに対してベリファイを定期的に実行することと、「RAID ログ管理ツール」を設定する必要があります。
  「RAID ユーティリティ」や「RAID ログ管理ツール」については『製品ガイド』の「ソフトウェア」－「各ソフトウェアの紹介」をご覧ください。
- RAID モデルをお使いの場合、本パソコンの起動直後にアプリケーションをインストールするときは、1 分程時間をおいてから行ってください。
- カスタムメイドを選択している場合や、セキュリティ機能をお使いになる場合は、「FMV マニュアル」にある機能別のマニュアルをご覧ください。
- 必要に応じて、ソフトウェアの追加や削除を行うことができます。ソフトウェアについては、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」をご覧ください。

その他の設定については「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』をご覧ください。

Windows XP セットアップで困ったときは

セットアップ中に動かなくなった、など困ったことがあったときには、次の項目をご覧ください。

■電源を入れても画面が表示されない

●電源を切り、ディスプレイなどの接続を確認してください。

■Windows セットアップが進められなくなった

●電源ボタンを 4 秒以上押し続けて、本パソコンの電源を一度切り、セットアップをやり直してください。

●途中で電源を切ると、次に電源を入れたときに再起動を繰り返したり、「システムのインストールが完全ではありません」などのメッセージが表示され、Windows が起動しなくなることがあります。
この場合は、「FUJITSU」ロゴが表示されているときか、またはメッセージが表示されているときに、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて強制的に電源を切り、リカバリ操作を行ってください。

■電源を入れた後、画面が中央に表示されない、画面が見にくい

●設定機能があるディスプレイをお使いの場合は、ディスプレイのマニュアルをご覧になり調整してください。

■起動時などの音がうるさい

●Windows セットアップ時に音が鳴ります。スピーカーを接続している場合は、ボリュームを調整してください。

■「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示される

●お使いのモニタに合わせたドライバをインストールしてください。

電源を切る（Windows XP の場合）

注意事項

●電源を切る前に、すべての作業を終了し、データを保存してください。

●電源を切る前に、ディスクアクセスランプやフロッピーディスクアクセスランプ（→「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』）が消えていることを確認してください。点灯中に電源を切ると、作業中のデータが保存できなかったり、フロッピーディスクやハードディスク内部のデータが破壊されたりする可能性があります。

●長期間お使いにならない場合は、パソコン本体背面のメインスイッチを「○」側に切り替えてください。

●自己診断（POST）時に電源を切らないでください。Windows が完全に起動してから、「電源を切る（Windows XP の場合）」（→ P.31）に従って電源を切ってください。

●通常の手段で電源が切れない場合や再起動できない場合、4 秒以上電源ボタンを押し続けて、電源を切ってください。ただし、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ると、ハードディスクを破壊するおそれがあります。緊急の場合以外は行わないでください。

●電源を切った後すぐに電源を入れる場合は、30 秒以上時間をあけてください。

電源の切り方

「スタート」ボタン→「終了オプション」→「電源を切る」の順にクリックします。
Windows が終了し、本パソコンの電源が切れます。

POINT

▶ 上記操作で電源が切れない場合、次の手順で電源を切ってください。

1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
2. Windows を終了します。
   表示されるウィンドウによって手順が異なります。
   - 「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示された場合
     「シャットダウン」メニュー→「コンピュータの電源を切る」の順にクリックします。
   - 「Windows のセキュリティ」ウィンドウが表示された場合
     1. 「シャットダウン」をクリックします。
        「Windows のシャットダウン」ウィンドウが表示されます。
     2. 「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックします。

それでも電源が切れない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けてください。

▶ 上記の画面で「再起動」を選択すると、本パソコンを再起動することができます。ソフトウェアをインストールした場合や、使用中のソフトウェアがなんらかの理由で動かなくなった場合などに、再起動を行います。再起動すると、メモリ内のデータが消失します。再起動する前に、必要なデータは保存してください。

2. 必要に応じてお読みください

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS セットアップの設定値を、本パソコンご購入時の状態に戻す方法について説明します。

本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に【F2】キーを押すと、BIOS セットアップが起動します。BIOS の設定値をご購入時の設定に戻すには、「終了」メニューの「標準設定値を読み込む」を実行した後、設定を保存してください。

重 要

- 「標準設定値を読み込む」を実行しても、セキュリティチップ、ハードディスクセキュリティ、および BIOS のパスワードの設定は、現在お使いの状態のまま変更されません。

POINT

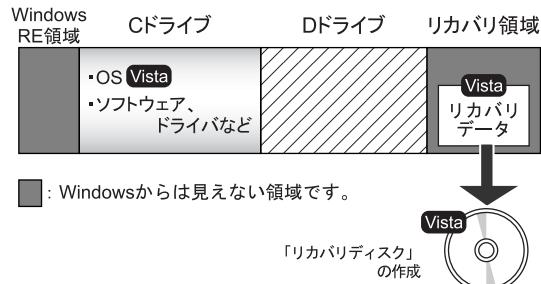
- ディスプレイの種類によっては画面の表示が遅く、「FUJITSU」ロゴや Windows の起動時のロゴの表示が確認できない場合があります。
  その場合は、BIOS セットアップを起動する際、本パソコンの再起動後に【F2】キーを数回押してください。

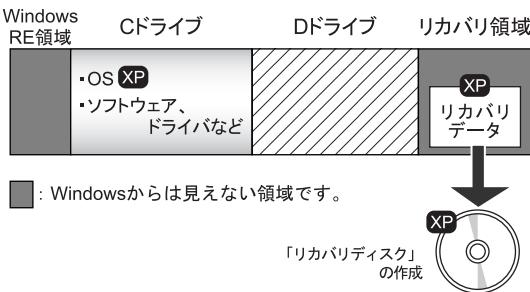
リカバリディスクを作成する

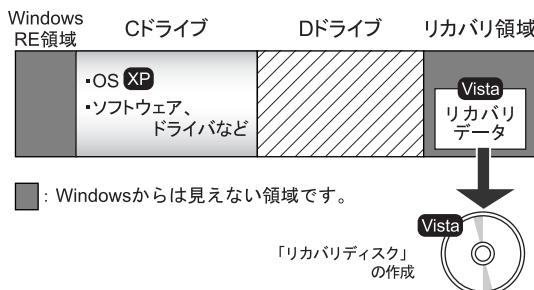
リカバリ領域にトラブルがあった場合に備えて、「リカバリディスク」を作成しておくと安心です。
ご購入後、できるだけ早く「リカバリディスク」を作成しておくことをお勧めします。

POINT

- カスタムメイドオプションで「リカバリディスクセット」を選択し、お手元に「リカバリディスク」がある場合は、リカバリディスクを作成する必要はありません。

リカバリ領域とは

ご購入時のハードディスクは、「Windows RE 領域」、「C ドライブ」、「D ドライブ」、「リカバリ領域」の 4 つの領域に設定されています。
パソコンにトラブルが起こったときは、リカバリ領域に保存されているリカバリデータを使って、C ドライブをご購入時の状態に戻すことができます。
しかし、ハードディスクのトラブルなどで「リカバリ領域」のデータを読み出せなくなると、C ドライブをご購入時の状態に戻すことができなくなります。
そこで、リカバリ領域のデータから「リカバリディスク」を作成しておくことをお勧めします。

■Windows Vista モデル

リカバリ領域にある Windows Vista のリカバリデータから「リカバリディスク」を作成します。

- Windows RE 領域：ハードウェア診断プログラムなどのシステム
- C ドライブ：Windows Vista
- リカバリ領域：Windows Vista のリカバリデータ

■Windows XP モデル

リカバリ領域にある Windows XP のリカバリデータから「リカバリディスク」を作成します。

- Windows RE 領域：ハードウェア診断プログラムなどのシステム
- C ドライブ：Windows XP
- リカバリ領域：Windows XP のリカバリデータ

■ダウングレードサービスモデル

リカバリ領域には Windows Vista のリカバリデータが入っています。Windows Vista をお使いになる場合に備え、「リカバリディスク」を作成しておくことをお勧めします。

- Windows RE 領域：ハードウェア診断プログラムなどのシステム
- C ドライブ：Windows XP
- リカバリ領域：Windows Vista のリカバリデータ

リカバリディスク作成前の準備

リカバリディスクを作成する前に、次の準備を行ってください。

■型名を確認する

作成したディスクのレーベル面に記入します。あらかじめ、保証書などで本パソコンの型名を確認してください。

■ディスクを用意する

リカバリディスクを作成するためには、CD-R または DVD-R が必要になります。その他のディスクはお使いになれません。

次のディスクをお使いになることをお勧めします（2008 年 3 月現在）。

●CD-R（700MB）

Windows Vista モデルおよびダウングレードサービスモデルの場合は6枚、Windows XPモデルの場合は5枚必要です。すべて同じ容量のものをご用意ください。

- 太陽誘電：CDR80WTY、CDR80WPY

●DVD-R × 1 枚（4.7GB）

- 太陽誘電：DR-47TY、DR-47WTY

■必要に応じて CD/DVD ドライブ、ソフトウェアを用意する

□ポータブル CD/DVD ドライブを接続する

書き込みができる CD/DVD ドライブがない場合は、ポータブル CD/DVD ドライブを接続してください。

1. 本パソコンにポータブル CD/DVD ドライブを接続します。
   ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット（FMV-NSM52）」または「DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット（FMV-NCB53）」をお使いください。
2. 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に【F2】キーを押します。
   BIOS セットアップ画面が表示されます。
3. 「詳細」メニューの「起動デバイスの優先順位」－「除外された起動デバイス」－「USB CD/DVD」を選択し、【x】キーを押します。
   選択したドライブの名称が「起動デバイスリスト」の方に移動します。
4. 【Esc】キーを 2 回押し、「終了」メニューの「変更を保存して終了する（電源 OFF）」を実行します。

□Roxio Easy Media Creator をインストールする

ポータブル CD/DVD ドライブをお使いの方は、必ず「Roxio Easy Media Creator」をインストールしてください。

ポータブルCD/DVDドライブに添付のディスクよりインストールできます。インストール方法は「FMV-NSM52」または「FMV-NCB53」に添付のマニュアルをご覧ください。

リカバリディスク作成

重 要

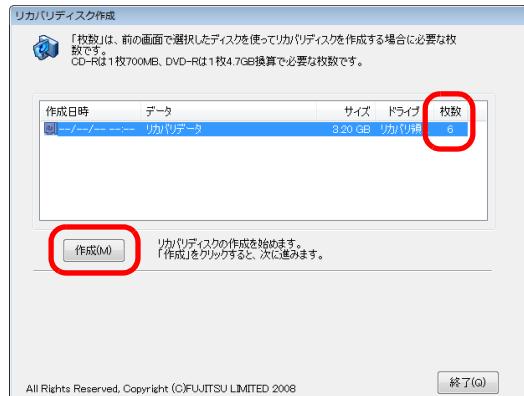
- Windows XP の場合は、必ず管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしてください。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「リカバリディスク作成」の順にクリックします。

POINT

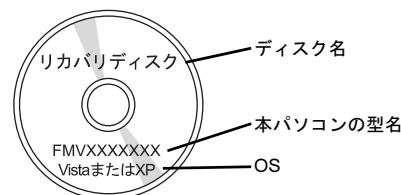
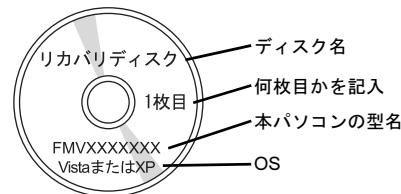
- Windows Vista の場合
  「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「続行」をクリックします。
  「続行」が表示されず「管理者アカウント」が表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックします。

「ディスクの選択」ウィンドウが表示されます。

2 「CD-R」または「DVD-R（1 層）」をクリックし、「OK」をクリックします。

「リカバリディスク作成」ウィンドウが表示されます。

POINT

- 内蔵 CD-ROM ドライブを搭載している場合、DVD-R に書き込んだリカバリディスクは使用できません。
  リカバリディスクを作成するときは、ポータブル CD/DVD ドライブを使用し､｢CD-R｣を選択してください。

3 必要な枚数を確認し、「作成」をクリックします。

枚数には、手順 2 で「DVD-R」を選択した場合は「1 枚」と表示されます。「CD-R」を選択した場合、Windows Vista モデルおよびダウングレードサービスモデルの場合は「6 枚」、Windows XP モデルの場合は「5 枚」と表示されます。

「リカバリディスクの作成を開始しますか？」というメッセージが表示されます。

4 未使用のディスクのレーベル面にディスクの名前などを記入します。

■ DVD-R の記入例

■ CD-R の記入例

POINT

- レーベル面に記入するときは、ボールペンや鉛筆など、先の硬いものを使わないでください。ディスクに傷がつくおそれがあります。

5 手順 4 で名前を記入した CD-R または DVD-R を CD/DVD ドライブにセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから次の手順に進んでください。

POINT

- Windows Vista で「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、ウィンドウを閉じてください。

6「はい」をクリックします。

ディスクへの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。

POINT

- 「未使用のディスクをセットしてから「OK」をクリックしてください。」と表示されたら、「OK」をクリックしてください。

7 ディスクへの書き込みが終了したら、「OK」をクリックします。

■ CD-R でリカバリディスクを作成する場合

1 枚目の書き込みが完了したら、続けて次のディスクを作成します。手順 4 から手順 6 を枚数分繰り返してください。

POINT

- 書き込みエラーが表示された場合
「リカバリディスクの作成に失敗しました。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックしてください。「リカバリディスク作成」ウィンドウに戻ります。
ディスクの不良が考えられますので、新しいディスクを用意し、手順 3 から操作し直してください。
なお、複数枚のディスクを作成している途中でエラーが出た場合には、途中から作成することができます。手順 6 で「はい」の代わりに「いいえ」をクリックし、作成し直したい枚数が表示されたら次のディスク作成に進みます。

「リカバリディスクの作成が終了しました。」というメッセージが表示されます。

8 ディスクを CD/DVD ドライブから取り出し、「OK」をクリックします。

9「終了」をクリックして、「リカバリディスク作成」ウィンドウを閉じます。

以上でリカバリディスクの作成は終了です。
作成した「リカバリディスク」は、大切に保管してください。

リカバリについて

Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、リカバリを行います。

リカバリとは、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態に戻す操作です。

ご購入時のハードディスクの状態

ご購入時のハードディスクは、「Windows RE 領域」、「C ドライブ」、「D ドライブ」、「リカバリ領域」の 4 つの領域に設定されています。

■ご購入時のハードディスクのイメージ図

□Windows Vista モデル

- Windows RE 領域：ハードウェア診断プログラムなどのシステム
- C ドライブ：Windows Vista
- リカバリ領域：Windows Vista のリカバリデータ

□Windows XP モデル

- Windows RE 領域：ハードウェア診断プログラムなどのシステム
- C ドライブ：Windows XP
- リカバリ領域：Windows XP のリカバリデータ

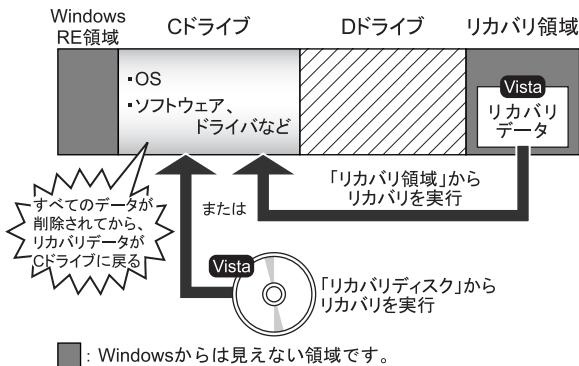
□ダウングレードサービスモデル

- Windows RE 領域：ハードウェア診断プログラムなどのシステム

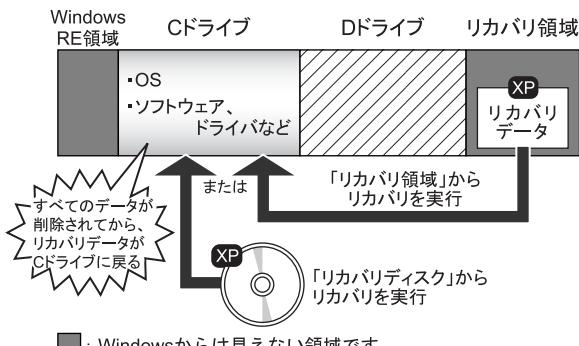
・C ドライブ：Windows XP
・リカバリ領域：Windows Vista のリカバリデータ

リカバリの考え方

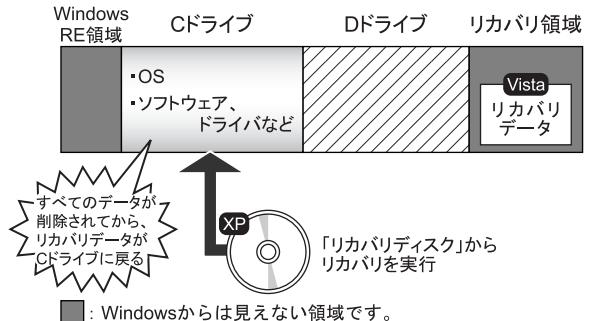
ハードディスクの領域は現在お使いの状態のまま、C ドライブのみご購入時の状態に戻します。C ドライブ以外のデータは、変更されません。

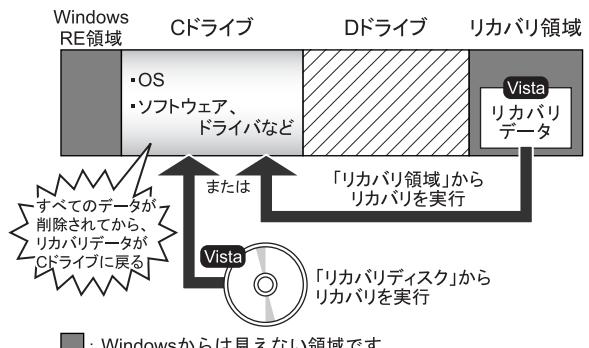
重要

▶ **リカバリを行うと、C ドライブのすべてのデータが削除されます。あらかじめ、必要なデータをバックアップしてください。**

「リカバリ領域」、「リカバリディスク」のどちらからも、リカバリを実行することができます。

■リカバリのイメージ図

□Windows Vista モデル

リカバリ領域またはリカバリディスクのリカバリデータを C ドライブに戻します。

□Windows XP モデル

リカバリ領域またはリカバリディスクのリカバリデータを C ドライブに戻します。

□ダウングレードサービスモデル

●Windows XP にする場合

添付のリカバリディスクのリカバリデータをCドライブに戻します。

●Windows Vista にする場合

リカバリ領域またはリカバリディスクのリカバリデータを C ドライブに戻します。

注意事項

●ハードディスクのドライブ構成を変更し、拡張パーティションが存在する状態でリカバリを実行する場合、リカバリ領域からのリカバリは実行できません。
その場合は、リカバリディスクを使ってリカバリを実行してください。

●リカバリを行うと、ハードディスクの 2 つ目の領域（出荷時は C ドライブ）のすべてのデータが削除されます。必要に応じて事前にバックアップしてください。

●セキュリティチップでフォルダやファイルの暗号化を行っている場合は、リカバリ前に復元用のバックアップをとっておいてください。復元用のバックアップデータがないと、データが読み出せなくなることがあります。
これによる損害等の責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
詳しくは、「FMV マニュアル」にある『SMARTACCESS ファーストステップガイド（認証デバイスをお使いになる方へ）』をご覧ください。

●周辺機器を取り付けている場合は、それらを一度取り外してから、リカバリを実行してください。
●内蔵 CD/DVD ドライブを搭載している場合、ポータブル CD/DVDドライブからリカバリを実行することはできません。ポータブル CD/DVD ドライブを取り外してから、リカバリを実行してください。
●リカバリを実行し Windows のセットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
●リカバリを行った後、標準のグラフィックカード、またはカスタムメイドで選択したグラフィックカードのドライバをインストールする必要があります。
リカバリを行う前に、「install.txt」を印刷することをお勧めします。
・標準のグラフィックカードの場合
添付の「ドライバーズディスク 1」をセットすると、「ドライバーズディスク検索」ツールが起動します。お使いのディスプレイドライバフォルダを検索し、フォルダ内の「install.txt」に従って、ディスプレイドライバをインストールしてください。
・カスタムメイドでグラフィックカードを選択した場合（Windows Vista の場合）
添付の「ATI Radeon™ ディスプレイドライバディスク」をセットすると、「ディスク検索」ツールが起動します。お使いのディスプレイドライバフォルダを検索し、フォルダ内の「install.txt」に従って、グラフィックドライバをインストールしてください。
・カスタムメイドでグラフィックカードを選択した場合（Windows XP の場合）
添付の「ATI Radeon™ ディスプレイドライバディスク」をセットすると、「ディスク検索」ツールが起動します。お使いのディスプレイドライバフォルダを検索し、フォルダ内の「install.txt」に従って、グラフィックドライバをインストールしてください。
●カスタムメイドオプションで選択したソフトウェア（Microsoft Office など）はリカバリでは元に戻りません。リカバリが終了してからインストールしてください。
●DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ、スーパーマルチドライブを搭載している場合、「Roxio Creator」はリカバリでは元に戻りません。リカバリが終了してからインストールしてください。インストール方法については、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」をご覧ください。
●本書ではマウスでの操作を前提に記述してあります。
●リカバリには時間がかかります。時間に余裕を持って、操作してください。

リカバリを実行する

本パソコンの C ドライブを、ご購入時の状態に戻すリカバリの方法を説明します。

POINT

▶ リカバリに関する注意事項（→ P.36）をよくお読みのうえ、リカバリを行ってください。

リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の準備を行ってください。

■BIOS 設定を購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時の状態に戻します（→ P.32）。

POINT

▶ BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、エラーメッセージが表示されることがあります。

■必要に応じてポータブル CD/DVD ドライブを接続する

リカバリディスクを使用する場合、CD/DVD ドライブがないときは、ポータブル CD/DVD ドライブを接続してください。

1. 本パソコンにポータブル CD/DVD ドライブを接続します。
   ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット（FMV-NSM52）」または「DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット（FMV-NCB53）」をお使いください。
2. 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に【F2】キーを押します。
   BIOS セットアップ画面が表示されます。
3. 「詳細」メニューの「起動デバイスの優先順位」－「除外された起動デバイス」－「USB CD/DVD」を選択し、【x】キーを押します。
   選択したドライブの名称が「起動デバイスリスト」の方に移動します。
4. 【Esc】キーを 2 回押し、「終了」メニューの「変更を保存して終了する（電源 OFF）」を実行します。

リカバリ方法

次のものを用意してください。

●Windows Vista でディスクを使ってリカバリする場合
・「リカバリディスク（Vista）」

●Windows XP の場合
Windows XP モデルの場合は、ディスクを使ってリカバリする場合のみ用意してください。
・「リカバリディスク（XP）」

1 本パソコンを起動します。

2「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されている間に、【F12】キーを押します。

「起動メニュー」が表示されます。
【F12】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。

POINT

▶ ディスプレイの種類によっては画面の表示が遅く、「FUJITSU」ロゴや Windows の起動時のロゴの表示が確認できない場合があります。
その場合は、「起動メニュー」を起動する際、本パソコンの再起動後に【F12】キーを数回押してください。

▶「起動メニュー」が表示されない場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。再起動については、「電源を切る（Windows Vista の場合）」（→ P.26）または「電源を切る（Windows XP の場合）」（→ P.31）をご覧ください。

3【↓】または【↑】キーを押して「トラブル解決ナビ」を選択し、【Enter】キーを押します。

そのまましばらくお待ちください。
「システム回復オプション」が表示されます。

POINT

▶「システム回復オプション」が表示されるまでの間、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずにそのままお待ちください。

4「日本語」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

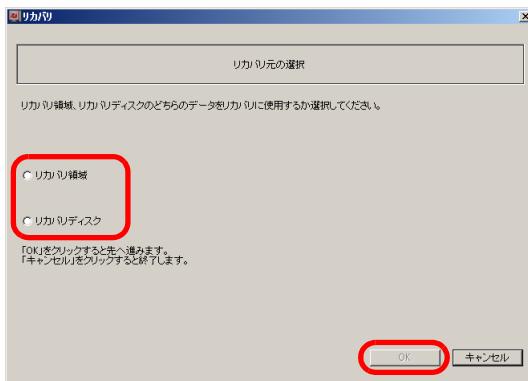
オペレーティングシステムを選択する画面が表示されます。

5「次へ」をクリックします。

■ Windows Vista の場合
ユーザー名とパスワードを選択する画面が表示されます。
お使いのパソコンで設定しているユーザー名を選択してパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
パスワードを設定していない場合は、何も入力せず「OK」をクリックします。

6「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「トラブル解決ナビ」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」が表示されます。

7「リカバリ」タブの「リカバリ」をクリックし、「実行」をクリックします。

「ご使用上の注意」が表示されます。

8「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「リカバリ元の選択」が表示されます。

9「リカバリ領域」または「リカバリディスク」をクリックし、「OK」をクリックします。

重 要

- ダウングレードサービスモデルの場合、「リカバリ領域」を選択すると OS が Windows Vista になります。Windows XP にする場合は「リカバリディスク」を選択し、添付の「リカバリディスク（XP）」からリカバリを実行してください。

■ **リカバリ領域**

ハードディスク内にあるリカバリ領域から、リカバリを実行します（リカバリディスクは使用しません）。

■ **リカバリディスク**

「リカバリディスク」を使用して、リカバリを実行します。

「リカバリの実行」が表示されます。

■「**リカバリディスク」からリカバリを実行する場合**

「リカバリディスク」または「リカバリディスク 1」を、CD/DVD ドライブにセットしてください。

重 要

- C ドライブのすべてのデータが削除されます。あらかじめ、必要なデータをバックアップしてください。

10「実行」をクリックします。

「リカバリディスク」を挿入した場合は、「リカバリディスクの確認」画面が表示されるので、「OK」をクリックしてください。

リカバリが始まります。

■「**リカバリ領域」からリカバリを実行した場合**

リカバリが終了すると「リカバリの完了」が表示されます。

■「**リカバリディスク」からリカバリを実行した場合**

「CD/DVD ドライブに、「リカバリディスク n」を入れてください。」というメッセージが表示された場合は、画面に表示された番号の「リカバリディスク」を CD/DVD ドライブにセットし、しばらくしてから「OK」をクリックします。

リカバリが終了すると「リカバリの完了」が表示されます。

ディスクを CD/DVD ドライブから取り出します。

11「完了」をクリックします。

本パソコンの電源が自動的に切れます。

■ **ポータブル CD/DVD ドライブを接続している場合**

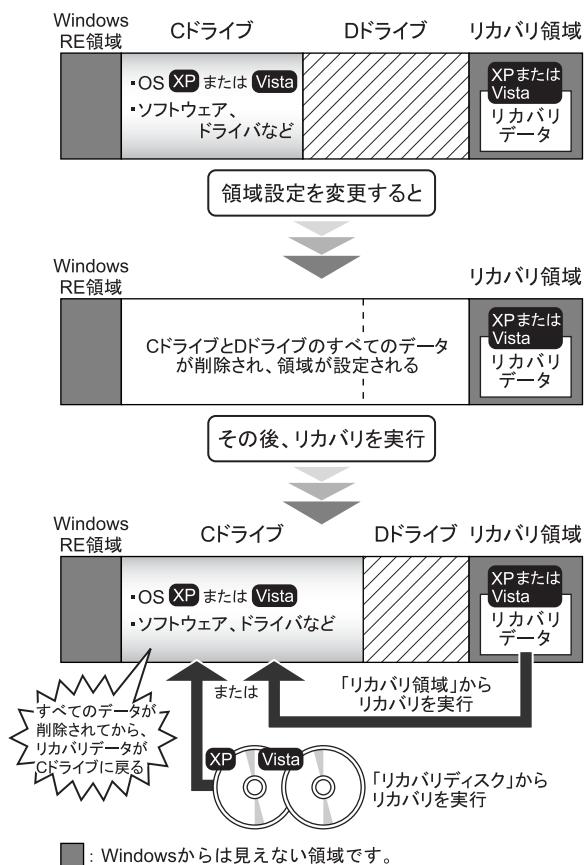
ポータブル CD/DVD ドライブを取り外します。

POINT

- 本パソコンの電源が切れた後、30 秒以上待ってから電源を入れてください。

12「セットアップ（Windows Vista の場合）」（→ P.23）または「セットアップ（Windows XP の場合）」（→ P.27）をご覧になり Windows のセットアップを行います。

以上でリカバリ操作は終了です。

お客様が設定したセキュリティ対策や各種設定内容は、設定前の状態に戻っています。セットアップ後、「Windows Update」などのセキュリティ対策を行ってください。また、必要に応じて、カスタムメイドオプションで選択したソフトウェアのインストールや設定などを行ってください。

詳しくは、「Windows Vista セットアップ後」（→ P.25）または「Windows XP セットアップ後」（→ P.30）をご覧ください。

領域設定の変更

ハードディスクの C ドライブと D ドライブの領域を変更したり、1 区画に変更したりすることができます。

領域設定の考え方

■領域設定変更のイメージ図

重要

- 領域設定の変更を行うと、Windows から扱える領域に保存されているすべてのデータが削除されます。あらかじめ、必要なデータをバックアップしてください。
  「Windows RE 領域」、「リカバリ領域」のデータは削除されません。

領域設定を変更する前の準備

領域設定を変更する前に、次の準備を行ってください。

■BIOS 設定を購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時の状態に戻します（→ P.32）。

POINT

- BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、エラーメッセージが表示されることがあります。

領域設定を変更する

1 本パソコンを起動します。

2 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されている間に、【F12】キーを押します。

「起動メニュー」が表示されます。

【F12】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。

POINT

- ディスプレイの種類によっては画面の表示が遅く、「FUJITSU」ロゴや Windows の起動時のロゴの表示が確認できない場合があります。
  その場合は、「起動メニュー」を起動する際、本パソコンの再起動後に【F12】キーを数回押してください。
- 「起動メニュー」が表示されない場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。再起動については、「電源を切る（Windows Vista の場合）」（→ P.26）または「電源を切る（Windows XP の場合）」（→ P.31）をご覧ください。

3 【↓】または【↑】キーを押して「トラブル解決ナビ」を選択し、【Enter】キーを押します。

そのまましばらくお待ちください。

「システム回復オプション」が表示されます。

POINT

- 「システム回復オプション」が表示されるまでの間、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずにそのままお待ちください。

4「日本語」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

オペレーティングシステムを選択する画面が表示されます。

5「次へ」をクリックします。

■ Windows Vista の場合

ユーザー名とパスワードを選択する画面が表示されます。

お使いのパソコンで設定しているユーザー名を選択してパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

パスワードを設定していない場合は、何も入力せず「OK」をクリックします。

6「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「トラブル解決ナビ」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」が表示されます。

7「ユーティリティ」タブの「領域設定」をクリックし、「実行」をクリックします。

「ご使用上の注意」が表示されます。

8「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「領域設定の実行」が表示されます。

9 領域を設定します。

■ ハードディスク全体を 2 区画で使用する場合

スライダーを左右にドラッグして C ドライブと D ドライブの容量を指定します。領域は 1GB 単位で設定できます。

■ ハードディスク全体を 1 区画で使用する場合

「ハードディスクを 1 区画に設定する。」をクリックし、チェックを付けます。

10「実行」をクリックします。

確認画面が表示されます。

重要

▶ 現在の領域設定を変更しない場合や、ご購入時から領域の設定を変更していない場合も、「実行」をクリックするとハードディスク内のすべてのデータが削除されます。

11「はい」をクリックします。

領域の設定が始まります。

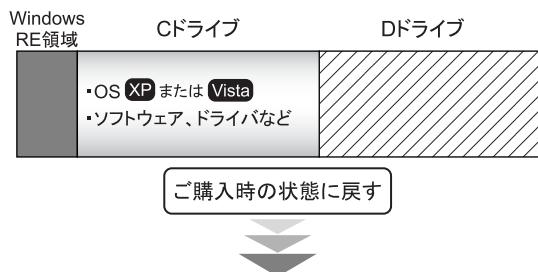
領域の設定が完了すると、「領域設定の完了」が表示されます。

12「完了」をクリックします。

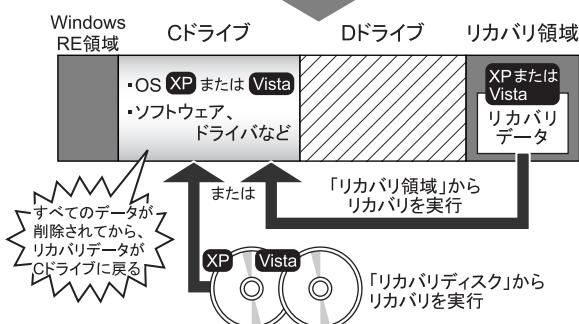
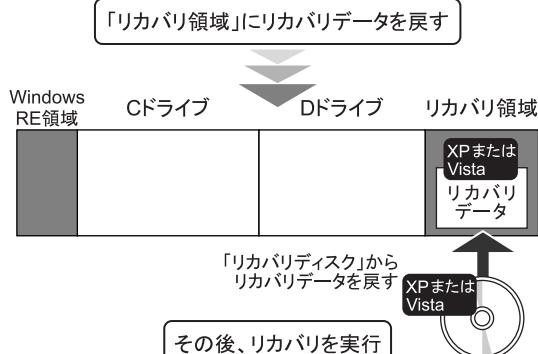
「トラブル解決ナビ」が表示されます。

以上で領域設定の変更は終了です。

この後は、必要に応じてリカバリを行ってください。

リカバリについて詳しくは、「リカバリを実行する」(→ P.37)をご覧になりリカバリを行ってください。

ハードディスクをご購入時の状態に戻す

リカバリ領域を消してしまった場合などに、ハードディスクをご購入時の状態に戻すことができます。

重要

- ハードディスク内のすべてのデータが削除されます。あらかじめ、必要なデータをバックアップしてください。
- ハードディスクをご購入時の状態に戻すには、リカバリディスクが必要です。

■ハードディスクをご購入時に戻すイメージ図

ハードディスクをご購入時の状態に戻す前の準備

ハードディスクをご購入時の状態に戻す前に、次の準備を行ってください。

■BIOS 設定を購入時の状態に戻す

BIOS の設定をご購入時の状態に戻します（→ P.32）。

POINT

- BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、エラーメッセージが表示されることがあります。

■必要に応じてポータブル CD/DVD ドライブを接続する

CD/DVD ドライブがない場合は、ポータブル CD/DVD ドライブを接続してください。

1. 本パソコンにポータブル CD/DVD ドライブを接続します。
   ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット（FMV-NSM52）」または「DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット（FMV-NCB53）」をお使いください。
2. 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に【F2】キーを押します。
   BIOS セットアップ画面が表示されます。
3. 「詳細」メニューの「起動デバイスの優先順位」－「除外された起動デバイス」－「USB CD/DVD」を選択し、【x】キーを押します。
   選択したドライブの名称が「起動デバイスリスト」の方に移動します。
4. 【Esc】キーを 2 回押し、「終了」メニューの「変更を保存して終了する（電源 OFF）」を実行します。

ハードディスクをご購入時の状態に戻す

次のものを用意してください。

- 「ドライバーズディスク 2 &ユーティリティディスク」
- Windows Vista の「リカバリディスク」
  Windows XP モデルの場合は必要ありません。
- Windows XP の「リカバリディスク」
  Windows Vista モデルの場合は必要ありません。

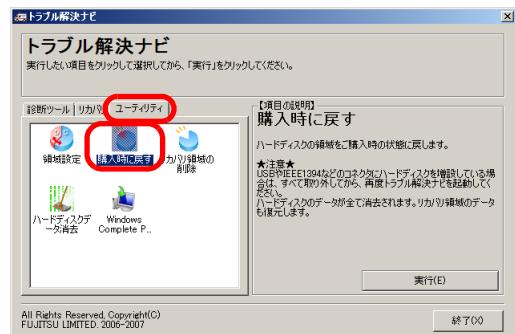
1 本パソコンを起動します。

2 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されている間に、【F12】キーを押します。
「起動メニュー」が表示されます。
【F12】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。

POINT

- ディスプレイの種類によっては画面の表示が遅く、「FUJITSU」ロゴや Windows の起動時のロゴの表示が確認できない場合があります。
  その場合は、「起動メニュー」を起動する際、本パソコンの再起動後に【F12】キーを数回押してください。
- 「起動メニュー」が表示されない場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。再起動については、「電源を切る（Windows Vista の場合）」（→ P.26）または「電源を切る（Windows XP の場合）」（→ P.31）をご覧ください。

3 「ドライバーズディスク2&ユーティリティディスク」を、CD/DVD ドライブにセットします。

4 「CD/DVD」または「USB CD/DVD」を選択し、【Enter】キーを押します。
「USB CD/DVD」は、CD/DVD ドライブが内蔵されていないモデルをお使いの場合に選択してください。
そのまましばらくお待ちください。
「トラブル解決ナビ」が表示されます。

POINT

- 「トラブル解決ナビ」が表示されるまでの間、一時的に画面が真っ暗な状態になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずにそのままお待ちください。

5 「ユーティリティ」タブの「購入時に戻す」をクリックし、「実行」をクリックします。

「ご使用上の注意」が表示されます。

6 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「領域をご購入時の状態に戻します。」と表示されます。

7 「実行」をクリックします。
領域の設定が始まります。

重 要

- ハードディスク内のすべてのデータが削除されます。あらかじめ、必要なデータをバックアップしてください。

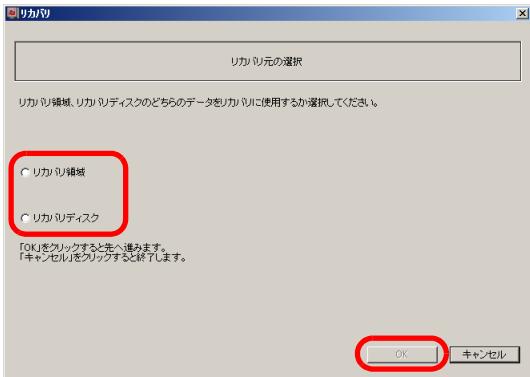
領域の設定が完了すると、「続けて、リカバリ領域にリカバリデータを復元します。」と表示されます。

8 「ドライバーズディスク 2 &ユーティリティディスク」を CD/DVD ドライブから取り出した後、「リカバリディスク」を CD/DVD ドライブにセットし、「OK」をクリックします。
Windows Vista モデルまたはダウングレードサービスモデルの場合は、Windows Vista の「リカバリディスク」をセットしてください。
Windows XP モデルの場合は、Windows XP の「リカバリディスク」をセットしてください。
「リカバリディスクの確認」が表示されます。

9 「実行」をクリックします。
リカバリ領域へデータの復元が始まります。

■ CD-R のリカバリディスクで復元した場合

「CD/DVD ドライブに、「リカバリディスク n」を入れてください。」というメッセージが表示された場合は、画面に表示された番号の「リカバリディスク」を CD/DVD ドライブにセットし、しばらくしてから「OK」をクリックします。

リカバリ領域へデータの復元が完了すると、「領域設定の完了」が表示されます。

10 ディスクを CD/DVD ドライブから取り出し、「完了」をクリックします。

「リカバリ元の選択」が表示されます。

11 「リカバリ領域」または「リカバリディスク」をクリックし、「OK」をクリックします。

重要

- ダウングレードサービスモデルの場合、「リカバリ領域」を選択すると OS が Windows Vista になります。Windows XP にする場合は「リカバリディスク」を選択し、添付の「リカバリディスク（XP）」からリカバリを実行してください。

■ リカバリ領域

ハードディスク内にあるリカバリ領域から、リカバリを実行します（リカバリディスクは使用しません）。

■ リカバリディスク

「リカバリディスク」を使用して、リカバリを実行します。

「リカバリの実行」が表示されます。

■「リカバリディスク」からリカバリを実行する場合

「リカバリディスク」または「リカバリディスク 1」を、CD/DVD ドライブにセットしてください。

12 「実行」をクリックします。

「リカバリディスク」を挿入した場合は、「リカバリディスクの確認」画面が表示されるので、「OK」をクリックしてください。

リカバリが始まります。

■「リカバリ領域」からリカバリを実行した場合

リカバリが終了すると「リカバリの完了」が表示されます。

■「リカバリディスク」からリカバリを実行した場合

「CD/DVD ドライブに、「リカバリディスク n」を入れてください。」というメッセージが表示された場合は、画面に表示された番号の「リカバリディスク」を CD/DVD ドライブにセットし、しばらくしてから「OK」をクリックします。

リカバリが終了すると「リカバリの完了」が表示されます。

ディスクを CD/DVD ドライブから取り出します。

13 「完了」をクリックします。

本パソコンの電源が自動的に切れます。

■ ポータブル CD/DVD ドライブを接続している場合

ポータブル CD/DVD ドライブを取り外します。

POINT

- 本パソコンの電源が切れた後、30 秒以上待ってから電源を入れてください。

14 「セットアップ（Windows Vista の場合）」（→ P.23）または「セットアップ（Windows XP の場合）」（→ P.27）をご覧になり Windows のセットアップを行います。

以上でご購入時に戻す操作は終了です。

お客様が設定したセキュリティ対策や各種設定内容は、設定前の状態に戻っています。セットアップ後、「Windows Update」などのセキュリティ対策を行ってください。また、必要に応じて、カスタムメイドオプションで選択したソフトウェアのインストールや設定などを行ってください。

詳しくは、「Windows Vista セットアップ後」（→ P.25）または「Windows XP セットアップ後」（→ P.30）をご覧ください。

Windows Aero を有効にする（Windows Vista のみ）

ご購入時の状態では、Windows Aero が無効になっている場合があります。Windows Aero を有効にするには、次の手順をご覧ください。
ただし、装置構成により、Windows Aero の設定を有効にできない場合があります。その場合、手順 3 の「配色」の一覧に「Windows Aero」が表示されません。
そのままお使いください。

1 デスクトップで右クリックし、「個人設定」をクリックします。
「個人設定」ウィンドウが表示されます。

2「ウィンドウの色とデザイン」をクリックします。
「デザインの設定」ウィンドウが表示されます。

POINT

- 「ウィンドウの色とデザイン」ウィンドウが表示された場合は、Windows Aero が有効になっています。

3「配色」の一覧で「Windows　Aero」をクリックし、「適用」をクリックします。

4「OK」をクリックします。

リサイクル

■本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

本製品の液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。

●法人・企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

●個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」をご利用ください。
詳しくは、「富士通パソコンリサイクル受付センター」のホームページ（http://azby.fmworld.net/recycle/）をご覧ください。

■使用済乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスなどには乾電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。
使用済乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●法人・企業のお客様へ

使用済乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

●個人のお客様へ

使用済乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

有寿命部品と消耗品

■有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1 日約 8 時間のご使用で約 5 年です（24 時間モデルは終日使用した場合で約 5 年です）。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。省電力機能については、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「取り扱い」－「省電力（Windows Vista の場合）」または「省電力（Windows XP の場合）」をご覧ください。
  また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

主な有寿命部品一覧

CRT、液晶ディスプレイ、ハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ、CD/DVD ドライブ、スマートカードリーダ／ライタ、キーボード、マウス、AC アダプタ、電源ユニット、ファン

■消耗品について

- バッテリパックや乾電池などの消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

■24 時間以上の連続使用について

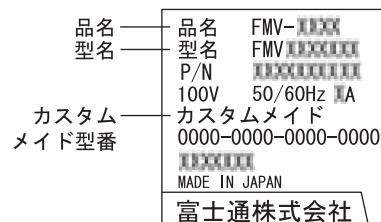
- 本製品（24 時間モデルを除く）は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

■24 時間モデルについて

- 本製品は、長寿命電源や長寿命ハードディスクを使用しているため、24 時間以上連続してお使いいただけます。

お問い合わせ先について

■お問い合わせの前に

あらかじめ次の項目について確認してください。

□品名／型名／カスタムメイド型番の確認

パソコン本体のラベルに記載されています。

●正面に貼付

型名 FMV

製造番号

●側面に貼付

（イラストは状況により異なります）

□修理を依頼する場合

●「リカバリディスク」の用意

必ず「リカバリディスク」を添付してください。

■お問い合わせ先

次の連絡先へお問い合わせください。

こんなときには	こちらへ
添付品の不備	ご購入元にご相談ください。
故障かなと思われたとき	「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』の「トラブルシューティング」をご覧ください。それでも解決できない場合は、ご購入元にご相談いただくか、**「富士通ハードウェア修理相談センター」**までお問い合わせください。 **< お問い合わせ先 >** **通話料無料 ：0120-422-297** **受付時間 ：9：00 ～ 17：00 （土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）** 部品送付による修理の場合、良品部品をお届け後、窓口よりお届けの確認と不良部品の引取日程などについてご連絡いたします。あらかじめご了承ください。
添付のソフトウェアのお問い合わせ	「FMVマニュアル」にある『製品ガイド』の「トラブルシューティング」－「お問い合わせ先」をご覧ください。
技術的なご質問・ご相談	「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』をご覧ください。それでも不明な点がございましたら**「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」**までお問い合わせください。ご質問、ご相談についての回答は専門技術員からのコールバックとなります。 **< お問い合わせ先 >** **通話料無料 ：0120-950-222** **受付時間 ：9：00 ～ 17：00 （土曜・日曜・祝日およびシステムメンテナンス日を除く）**
富士通サプライ品のご購入	富士通サプライ品のご購入については、**「富士通コワーコ株式会社」の「お客様総合センター」**までお問い合わせください。 **< お問い合わせ先 >** **通話料無料 ：0120-505-279** **受付時間 ：9：00 ～ 17：30 （土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）** URL ：http://jp.fujitsu.com/coworco/

- 電話番号は、おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- 「富士通ハードウェア修理相談センター」、および「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」は、ダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

■有償サービス「SupportDesk」のご案内

システムの導入支援からソフトウェアの Q&A、万一のハードウェアトラブル時の修理など、お客様のパソコンに関するビジネスライフをトータルにサポートするサービスをご用意しております。詳しくは、富士通ホームページ「製品サポート」をご覧ください。

URL ：http://segroup.fujitsu.com/fs/products/pc/

FMV-D5260

取扱説明書
B5FJ-7421-01-01

発 行 日　2008 年 4 月
発行責任　富士通株式会社

Printed in Japan

● このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

● このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。

● 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

㋐0806-1

本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準（2007年度版）を満たしています。
詳細は、Webサイト http://www.pc3r.jp をご覧ください。

大豆インキで印刷しています。

このマニュアルは再生紙を使用し、リサイクルに配慮して製本されています。
不要になった際は、回収･リサイクルに出してください。